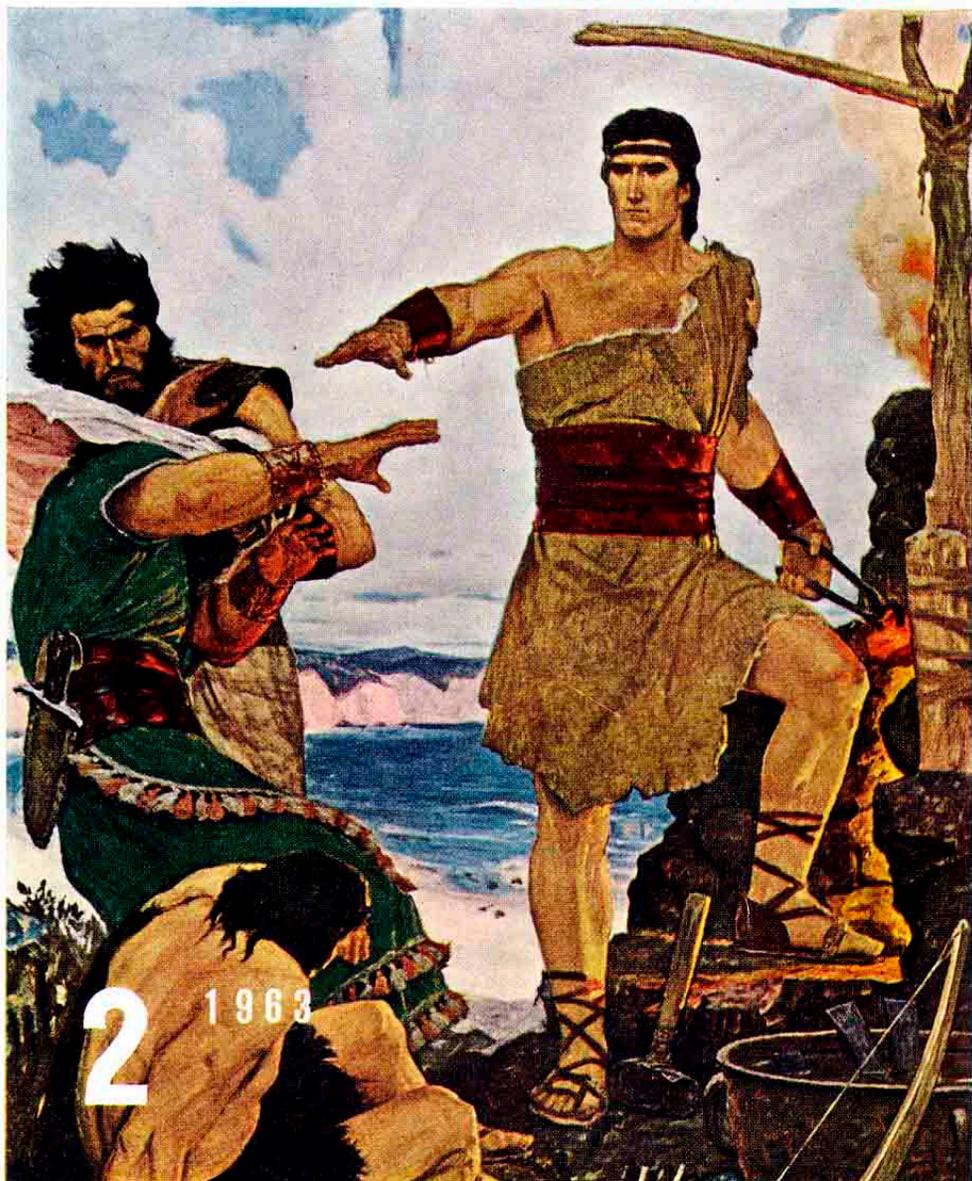


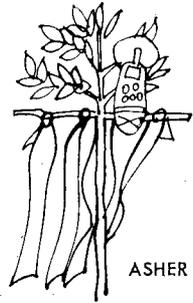
# 道の徒の聖

SEITO-NO-MICHI

一九五八年三月十七日第三種郵便物  
認可（毎月一回一日発行）  
第七卷第二号 一九六三年二月一日  
発行



末日聖徒イエス・キリスト教会



|   |                                      |
|---|--------------------------------------|
| A Prophet's Voice: Free Agency — the Gift of Divine .....                         | President David O. McKay...68        |
| President's Message .....   | President Dwayne N. Andersen...73    |
| Mormon Doctrine (35):   |                                      |
| Priesthood Organization (in Mission)...   | Brother Tatsui Sato .....77          |
| Your Question: In obeying God, is personal Liberty curtailed?                     |                                      |
| .....   | President Joseph Fielding Smith...81 |
| Lectures on Faith (at Kirtland, Ohio) (4).....                                    | 84                                   |
| Breaking Ground for Tokyo West Branch .....                                       | Brother Masao Watabe...86            |
| Branch News .....   | 89                                   |
| Asahigawa, Kōfu, Matsumoto, Nagoya, Okamachi,<br>Sapporo, Nishinomiya, Tokyo West |                                      |
| Mission Headquarters News .....   | 94                                   |
| Aaronic Priesthood: Branch Teaching Lesson (for Feb.).....                        | 95                                   |
| Church Articles.....  | 96                                   |
| Genealogy Guide (for Feb)   |                                      |
| Sunday School Guide for J.S.S. (for March)  |                                      |
| Hymns for Exercise (for March)  |                                      |
| MIA Leader (for March)  |                                      |
| Mission Mother's Message .....  | 106                                  |
| Relief Society Lessons .....  | 109                                  |
| Literature—Theology—Social Science—Visiting Teacher Message<br>Work Meeting       |                                      |
| GOSPEL IN ENGLISH .....   | Sister Aeiteu Ohuchi...126           |

聖徒の道

第七卷  
第二号



一九六三年二月号

自我をはらい去つたところ

清く明らかなところ

神のこころ

「みたま」の力の出るみなもと



---

## 写真ニュース

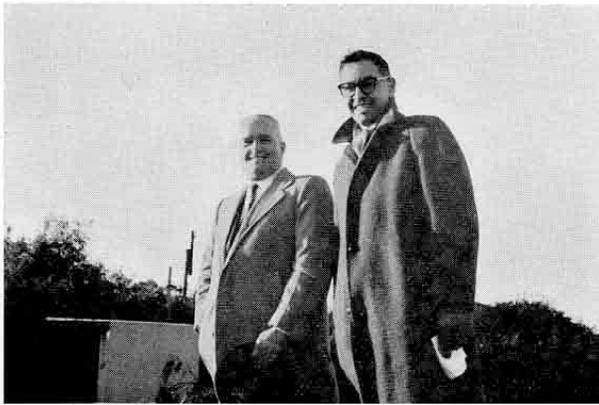
---

東京西支部教会堂鍬入れ式

1月6日東京都武蔵野市吉祥寺の東京西支部建築用地に於て教会堂の鍬入れ式が挙行された。

↓ 左 アンダーセン伝道部長      右 西支部浅田支部長





← 建築委員会  
ヘルズ兄弟

→

吉野第一副伝道部長  
の話



← 喜びいっぱいの  
会員たち

勤労奉仕される  
アンダーセン伝道部  
長一家

1月4日、毎日忙しい  
執務の中、一日中宣教  
師たちの中にはいて  
働かれた。(伝道部長  
メッセージ参照)





岡町支部 ↑

11月29日、リサイタルを開き、演奏中の秋元彬江姉妹

甲府支部 →

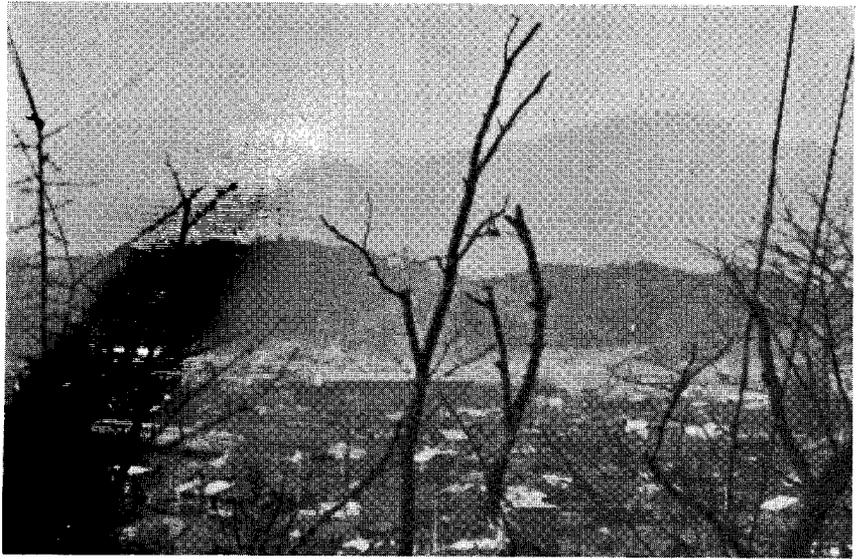
不幸な子供のいる明生学園を慰問、紙芝居を上演



金沢支部 ↘

12月22日MIAで「汚れなき剣」を上演信仰は剣よりも強いことを証しした。





目次 聖徒の道 一九六三年二月号

予言者のことば

## 神の賜——自由意志

大管長 デビド・O・マッケイ……1

伝道部長 メッセージ

ダウエン・N・アンダーセン……73

モルモンの教義(三十五)……

77

## 神権者の組織

(伝道部に於ける神権定員会)

佐藤 龍 猪

## 質疑 応答

神にしたがうとき個人の自由は害せられるか

ジョセフ・フィールディング・スミス長老……81

## 信仰講話

第三講

84

「信仰の目標(対象)」について



## 西支部鋤入れ式に臨んで

渡部 正雄

アロン神権プランチ・テイーチング・レッスン(二月用)……………95

系図の道しるべ(二月用)……………96

子供の日曜学校ガイド(三月用)……………98

練習の讃美歌(三月用)……………101

M I A リーダー(三月用)……………102

伝道部扶助協会長メッセージ……………ペギー・ヒュイシ・アンダーセン……………106

ジョセフ・スミスの生涯(五)  
(扶助協会文学用レッスン)……………109

扶助協会レッスン……………114

支部だより……………89

伝道本部だより……………94

英会話テキスト……………126

予言者のことば

## 「神の賜——自由意志」

大管長　デビド・O・マッケイ

神が人間にたまわった最も大きな賜の第一は生命そのものであり、次に位するのはその生命をいろいろな方向にむけて働らかせる権利である。現在、最もさしせまって必要とされているものは個人の自由を保存することであって、選択の自由という権利はこの地上にあるいかなる財産よりもたいせつにしなければならぬものである。この権利は、人の霊が生まれながら持っている権利であって、あらゆる正常な人間に与えられている神の賜である。あらゆる人はみじめな貧しい境遇に生まれようと、生まれながらにして身動きのないほどの富を親から受けつごうと、このあらゆる生命に授けられた最も貴い賜、すなわち人が生まれつきそなえていて奪うことのできない「自由意志」の賜をもっている。

自由意志は霊の進歩をおしすすめるみなもとである。人をして自分のようにならせることは、主なる神の目的であるから、人がこのような高い状態に達するために、創り主なる神は人をしてまず自由ならしめることが必要であった。

パウワー・リットンは「人間の威厳と人間の幸福にとって何よりもなくてはならないものは個人の自由である」と言っている。

聖典の参考書をみると、この自由意志の原則は第一に人間の救いに欠くべからざるものであり、第二に人、組織および国民の行動を批判し得るものさしにすることができると言つてある。現代のように、悪魔が強い決意をもつてこの根本の長所である自由意志に打撃を加えようとしている時は歴史上いまだかつてなかったと私は思つている。

私は神の手が働らいて世界が滅びると見ている人々の仲間ではない。私は現在世界にある悲惨な境遇が神によつてつくられたとは信じていない。現在世界にあるいろいろ悲惨な状態は、神の律法に従わない直接の結果、避けることのできないものとして生じたのであると私は信じている。

また私は、神の最も偉大な特質は愛であること、神はわれわれの父であつて神の子らであるわれわれ人類に幸福と永遠の生命とを与えたいと思つておりたもうことを信じている。人間は善を選ぶのも悪を選ぶのも心のままである。人間は暗黒の中にあるくのも光の中にあるくのも心のままである。しかし、よくききたまえ、神はその子らに光を与えずにほつておきたもうたことは一度もない。神はよろずの国民の行く先についてさえ目を離しておいでにならない。

「人間が人生の結末をどのように荒つくりしても、神は自分の目的にかなうように仕上げてしまう」（ハムレット第五幕第二場）

われわれが行いを選ぶとき、われわれは「人生の結末の荒つくり」をしていると言えようが、神はわれわれの行為や国民の行為がどうあろうと神の神聖な目的を完成しておしまひになる。

人間が自由意志を使うとき、その人間は責任を負わなくてはならない。もしも義しい行いをする者がよい酬いを与えられ、悪い行いをする者が罰を与えられるなら、一般の正義はこの者に独立して事を行なう能力を与えるように要求する。善悪を区別する能力は、人間がこの地上において進歩向上するためになくてならぬものである。もしも人間がいつ

も善を為すように強制されるなら、または罪にひきこまれるのをふせぐ力がまったくなかったら、人間は善いことをしても祝福を受ける価値がなく、また罪を犯しても罰に値しないであろう。人間の責任はその自由意志に相当してかかってくるものである。神の律法と自然の法則に調和した行為は幸福をもたらし、神の真理に反した行為は悲惨な結果をもたらす。人間は自己の行なうあらゆる行為に対して責任があるばかりでなく、その口から出るあらゆる無用なことばとあらゆる胸の思いに対しても責任がある。

意志の自由と、意志の自由に連合している責任とはイエスの教えの根本的な面である。イエスは導きとめぐみを施しておいでになった時、始めから終りまで個人の価値を強調し、また近代の啓示に「これわが業にしてわが栄光」(モーセの書一〇三十九)と述べてあるところの業を実際に模範となつて示したもうた。自由意志という神の賜によつてのみ、このような進歩を得ることができるのである。

これに反し強制力は悪魔であるルシフェル自身から出てくる。人間がすべて先の世にいたときにさえ、人間の自由意志にかえるに強制をもつてする提案をして、人間をすべて彼の意志にしたがわせる力を要求した。もしもルシフェルの案が受け入れられていたなら、人間は一人の独裁者の意のままになる単なるあやつり人形になつていて、人間がこの地球へ生まれてくる目的は全く水の泡になつていたことであろう。それであるからサタン(ルシフェル)が提議した管理の制度はしりぞけられ、そのかわりに自由意志の原則が確立したのである。

たまにしか強調されていないが、自由意志と相互に關係している、いな自由意志と共に存在しているもう一つの責任がある。それはほかでもない、個人の行為のみならず個人の思想にも影響があるということである。人はその人格を放射する。そしてその放射の影響は、その放射にあたるすべての人に大なり小なりあらわれるものである。

現在、世界は力によつて支配されている。そして、個人の自由は國際間の競争と誤つた

政治上の考えとによつて脅威を受けている。政治上の便宜主義によつてあまりにしばしばうながされることであるが、おろかな立法がひとたび行なわれるならば、国の法律という美名にきそわれて人間固有の権利である自由意志を害し、人間の正しい自由をうばい、人間は統制という名の粉砕機の齒車にすぎぬものになること必定である。

国家が個人のために存在し、個人が国家のために存在していいことを常に心に留めておくのはよいことである。人間が自由意志を自由に使うことを破壊する制度は、どのような制度であつてもまちがつてゐる。そのような制度のもとでは自由はみな放縦となり、人間はみな法の破壊者となる。法を破壊する者を減らし、侵害された者を守ることをこそ國のなすべき務めである。

神は永遠のかけに立ちたもうていて、人には見えぬが、気まぐれな人間―神の子たち―がおろかな行いや罪をおかした結果、避けることのできない悲惨な状態におちいつてゐるのを悲しんでおいでになると私は思つてゐる。

しかし「わが息子よ、ここに二つの道がある。一つは右へ通じ、他の一つは左へ通じてゐる。もしお前が右へ行く道を選ぶなら、お前は成功と幸福とを得るであらう。もしお前が左へ行く道を選ぶなら、お前は悲惨と不幸とおそらくは死さえも自分の身に招くであらう。しかし、お前はこころのままにえらべ。お前は自分でえらばなくてはならぬ。我はどちらもお前に強制する意志はない」と言う父親をせめることができないとおなじように、人がこころのままに為すにまかせておりたもう神をせめることはできない。

その若者は出かけて行き左へ通ずる道の示すみりよくに引かれて、これこそ成功を得る近道であると思ひ、ついにその道を行くことにきめる。父親はその息子がどうなるか知つてゐる。父親は遠くへ行かぬうちに、そのはなやかな道の上には泥の穴があつてそこへ息子がおち入ることを知つてゐる。父親は息子がその泥穴からもがき出たあと、また泥沼の中へおちこんでしまうことを知つてゐる。父親は左へ通ずる道をえらんだほかの者たちも

その泥沼の中へおちこんでいることと、泥沼から乾いた土地へはいあがろうとして組打ちをしていることも知っている。父親は息子がその状態におち入らぬずっと前からわかっていたので、前もって息子に言っておくことができた。父親は息子が今泥沼の中へおちいても前とかわらぬ愛をもって息子に警告をしつづけ、正しい道へもどるように彼のためにねがっているのである。

神もまた、はるか昔の予言者たちを通じて、神の民も個々の人間も国民も悲惨と死に至る道をえらぶものが多いことを世の人に教え、そのことを予言したもうた。しかし悲惨な結果になった責任は神のことばにきき従わなかった人々にあつて神にないことは明らかである。

選択をする力をあなたがたはみな内にもっている。そして選ぶべき道は明らかにしるしがつけてある。正しい選択をするに当つて、神があなたがたに明察の力と、強固な意志と、勇ましい心とを与えたもうよう祈りたてまつる。

## 伝道部長メッセージ



伝道部長  
ダワエン・N・アンダーセン

ネブカドネザル王が示現の中に見た「人手によらずに切り出された大きな石」は、いまころがり出て全地に満ちているところであり  
ます。

「それらの王たちの世に、天の神は一つの国を立てられます。これはいつまでも滅びることがなく、その主権は他の民にわたされず、かえてこれらのもろもろの国をうち破って滅ぼすでしょう。

そしてこの国は立って永遠に至るのです。一つの石が人手によらずに山から切り出され、その石が鉄と青銅と粘土と銀と金とをうち砕いたのを、あなたが見られたのはこの事です。大いなる神がこの後に起こるべきことを王に知らされたのです。その夢はまことであって、この解き明しはたしかです」(ダニエル書二〇四十四―四十五参照)。

この石は、神が全世界に住む誠実な人々の生活をめぐむためにお立てになった、独自の組織と建物とプログラムとをもつ「末日聖徒イエス・キリスト教会」であります。この「大きな石」はまた、ロケットと人工衛星のとぶこの驚ろくべき時代に、いままでに手がけられた最も大きな企てであります。そしてこの企ての設計をし指導をなさっているのは万物の創造者である、私たちの「永遠なる父の神さま」であります。

この「大きな石」は東洋の国々では比較的あたらしいものであります。その巨大な影響力は東洋にある風がわりな国々に住んでいる無数の人々がすでに心に強く感じているところがあります。ところで、この「大きな石」のおいしい果実の味を知った人々は、この石がころがり出て全地を満たす手助けをするために、この世のこと

をさし置いて全力をつくして石を押しという重大な責任をもっていきます。「この石」はこれまでに、東洋の諸國につたわるいろいろな習慣や言いつたえとは、度々まったくちがった新しい観念、新しい考えを生んでいます。「この石」について一つのすばらしい事を言いますと、それは誰がその観念と考えを各自の生活で実行しようとして、それがアジア、南太平洋、ヨーロッパ、アメリカなどこの地にあろうと、人々はみなそれが神から出たものであるという同じあかしと確信を得るということがあります。それにまことに神のみわざであります。

あなたがたは「この大きな石をころがすために、ただ一人の私に何ができるでしょうか」と言うかも知れません。私はこの問に対して「たくさんすることがあります。この石の力があらわれるかあらわれないかは、一人一人の力が結集されるかされないかによります。私たち一人一人は今立ちあがって無関心、恐怖、自己満足などの鎖をたちきり、神のよろいをつけなくてはなりません。私たちは、主なる神さまから力と靈感とを授かるために、服従することによってそなえをしなくてはなりません。その石にあなたの手をつけて石を押し出す手助けをするために、あなた一人でもできる三つの分野があります。第一は、お金と労力とを捧げて教会堂建築の助けをすること。第二は、あなたの家族、友だち、隣りにあなたのもっている大きな喜びの福音をわけ与えること。第三は、日曜学校で教えること、神権者として働らくこと、ブランチ・ティーチングをすること、支部長になることなどのような、支部や地方部の中の働らきを通して聖徒たちを完全にする手助けをすることであります。すべてこれらはいせつであって、一人一人の人が努力をする

必要があるのであります」と申します。

先週の金曜日（一月四日）に、私はめぐまれて東京北支部の建築計画のためにほとんど一日中働らくことができました。この経験によって、私はみなの方が手伝いをするのでできる一つの地域について言いたいと思ういろいろなことを思いつきました。勤労奉仕宣教師と会員とが、教会堂を建てるために一つになって働らくということは、日本や沖繩に住んでいる人々の多くにとって始めての考えであります。すべての会員がこのプログラムのもつ力のはっきりした姿を把握するまでには少しの時を要するでしょう。これまで建築計画のために働らいている勤労奉仕宣教師と数人の日本人会員とが、このプログラムについて大きな喜びと励みとを得ていることを見るのは私の喜びであります。しかしながら、建築の働らきをするためにまだ充分な数の会員が規則的に現場へ働らきに行っていない。これについて、私はアメリカ軍人が立派な模範を示していることを推賞したいと思えます。現在まで、アメリカ軍人の奉仕した働らきの総時間数は三百二十七時間であり、日本人会員がみなで奉仕した総時間数はちょうど三百八十三時間であります。この計画が実施されている場所の近くに住んでいる会員一人一人は、東京北支部または西支部に奉仕することのできる時間が一目でわかる毎月の予定を立てるべきであります。これらの教会堂は魔法でもってあらわれるのではありません。実際に建つにはお金と労力とが要ります。教会は、東洋の人たちがこれらの立派な建物をもつことのできるように一つの方法を用意しております。それでも、それが実現するまでには多くのお金と労力とが要ります。しかしながら、その事業が完成したあかつきには、それはあなたがたが自分の手でつくりあげ

たものとなるのであります。

今、このプログラムがあなたがたのために、どのように行なわれるかはつきり申しませう。教会本部は教会堂を建てるに必要なお金の八十パーセントを出します。そして伝道部に属する各支部の会員がのこりの二十パーセントを調達するのです。支部の会員は、各会員の努力と勤労奉仕宣教師計画による努力とを寄付することによって、自分たちに割当てられた二十パーセントの大部分をまかなうことができます。しかし、それでもすべての支部は、自分の支部の建物のために今お金を集めていなくてはなりません。この資金は土地購入のための一部となり、また自分の支部のための建築が始まったとき、勤労奉仕宣教師たちを入れる家、その他の世話をするためになるものです。各支部は支部の建築資金を集めるためにたえず努力していなくてはなりません。

私たちはまた、どの会員もその住所の如何にかかわらず教会堂建築の事業を助けることのできる計画を立てました。すなわち、会員は一人のこらず、この勤労奉仕宣教師計画のために毎月百円ずつ別に寄付をするよう申し勧めます。この百円は毎月支部長に納めると、支部長はそれを「宣教師基金」として受けとり、勤労奉仕宣教師のための費用の一部として使われます。それでこの計画は会員一人のこらずが「この大きな石」をころがす仕事の一部に加わって実際に意識するよい機会を与えるにちがいありません。これは毎月きまって教会へ寄付をする以上のとくべつな努力であります。それはあなたがたの心に、助ける満足と喜びを感じさせるにちがいありません。

これと同じような計画が、これまで太平洋地域において数々の教

会や学校を建てる際に奇蹟を行なっています。「太平洋地域に於ける偉大な宣教師」と題したデビッド・W・カミングスの著書は、私たちの信仰を強める多くのすぐれた経験をもとに収めています。私は日本以外の建築計画から得られたこれらの経験のいくつかを、今みなさんと一しょにふり返ってみたいと思います。カミングス兄弟は、

「しかしながら、具体的成果が巨大であり多様でありすばらしいものであるとは言え、それだけではけっして全部のすばらしい業績ではない。このプログラムは、本当に教会のためになり、無数の人々に感動を与えてよい方へ動かす霊的価値のあるおどろくべき源泉であることが証明された。このプログラムには何百人というマオリ、サモア、トンガ、フィジー、タヒチおよびハワイ諸島の青年たちがとくべつな使命を遂行するために召され、その教師兼指導者として、中央ステークキ部から派遣された専門の建築家たちがこれに加わった。このプログラムによって彼らの多くが英語をおぼえ、彼らの全部が手職をおぼえ、福音の知識を与えられ、近代生活による始めての経験を得、組織をもったチームワークの価値を身につけた。またこのプログラムによっていろいろな偏見がうち破られ、多くの友人ができ、このプログラムの行なわれたところ、教会の名前は市民の間で教育者たちの間で新しい水準にまで高まった。ニュージーランドの首相はこれを見て驚ろきのあまり「この背後にあるものは何か」とたずねたが、それに対する「神に仕えているという、働らく者たちの心にある確信こそそれである」という答えは、簡単ではあるが言わんとするところをよくあらわしている。何百人という勤労奉仕宣教師は、その澄みわたった清らかにもえる熱

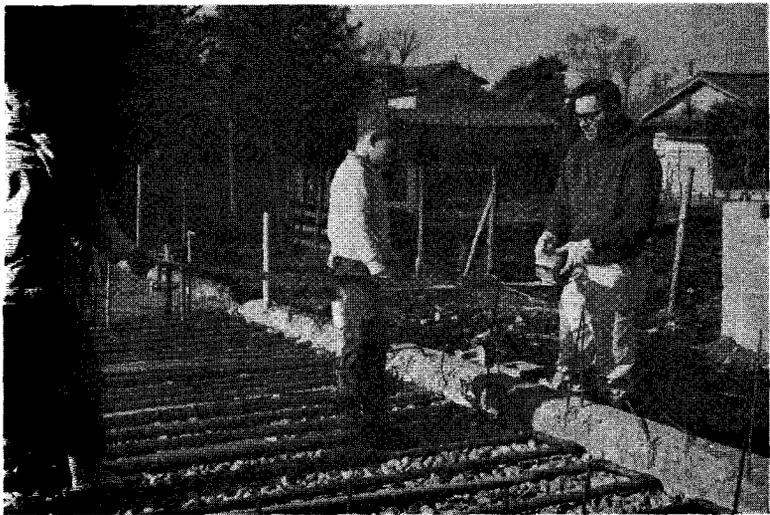
情のあかしをしている。そして彼らは二年、三年きては五年、六年におよぶ一文にもならない働らぎに対する充分なつぐないとして、そのあかし、そのやむにやまれぬ強い確信をかぞえるのである。彼らの一せいにあげる声は無数の人々の耳に達し、教会の内と外とを問わず善のための大きな力となっているのである」と言っています。彼らの声は高くはつきりとひびいています。

「私は主のために働らいているのだ」、「ここで働らくのは私の特権であり私の祝福である」、「こんなに幸福なところはどこにもなかった」と。

太平洋地域の建築計画ほど、働らいている人々の完全な献身を得た教会活動はこれまでになく、また働らく人々のところに大きな愛をもたせた教会活動もこれまでにありません。

そのつづきはすでに展開しています。ちがっているのは、ただひじょうに広い地域にわたっているということだけです。前と同じく自発的な労働という献身的の力をささげ、真理の発展を促進するという同じ厳粛な目的を目ざして、わが教会の建築計画はヨーロッパをはじめ、中央アメリカ、南アメリカとひろがり、今や東洋にも行なわれています。今、この神の靈感による同じ建築計画が日本と沖縄に住む者たちに与えられていることは、まことに神聖な特権であります。私たちは、私たちの前に出された挑戦に応じて立ち上がるでしょうか。私たちは立ち上ります！

伝道部に属する各支部の会員たち、軍務に服している会員たち、宣教師たちのみなさんよ、この「大きな石」にまごころをこめて両手をつけ、この石がころがり出て全地を満たす手助けをするよう自分自分の役を果たして下さい。



北支部で勤労奉仕をする部長

63年1月4日

# 「神権者の組織」(伝道部に於ける神権定員会) (三)

「教義と聖約」第七七章



佐藤 龍猪

## 十五、定員会委員会 (Quorum Committees)。

定員会の管理と運営を行うために定員会々々長会を助ける目的で、以下のような一般分野で働らきをするため各委員会を設けることができる。

- (一) 個人福祉委員会
- (二) 教会活動委員会
- (三) 事実調査委員会
- (四) 特別な仕事をするための委員会 (必要に応じて)。

## 十六、個人福祉委員会 (Personal Welfare Committee)。

この委員会は定員会々々の物質上、経済上の必要について世話をし、なかでも次の分野で働らくようにたのまれることがある。

- (一) 定員会基金を調達するためために計画されたいろいろな計画を監督する。
- (二) 定員会々々員もしくは伝道に出ている人々を扶助することに必要な程度まで力を貸す
- (三) 宣教師の家族の経済上の福祉を世話する

ことに力を貸す。

四 経済状態を改善する必要のある定員会々々員のために更生を講ずるかまたはもつとよい職を探す。

五 教会の働らきをするために交通機関を必要とする定員会々々員に交通機関を準備する。

## 十七、教会活動委員会 (Church Service Committee)。

この委員会は定員会々々の靈性に必要なことと世話をするのが任務である。なかでも次の分野で働らくようにたのまれることがある。

- (一) 不活潑な定員会々々員ならびにその家族をばげまして活潑にするよう努力をする。
- (二) 地方部に属する非専任宣教師および外国へ伝道する宣教師の養成をし且つ奨励をする。
- (三) 定員会々々員およびその家族が神殿へ行くそなえをするようにはげましを与える。

四 系図の探求をふくめて、死者のために神殿の儀式がすみやかに行われるように努める。

五 定員会々々の一人のこらずが、神権者の儀式をとどこおりなく行えるように教える。

六 定員会々々の一人一人が、必らず教会の任務をもつようにする。

(七) 定員会々々員とその家族が茶、コーヒー、タバコ、アルコール性飲料、麻醉性のある薬劑などを用いる悪習におち入らぬよう、またみだらな文書を読まないよう、またどのような不潔不道徳な行いによってもその身を墮落させないよう、また安息日の誠めを破らぬよう、また自分の一を納めることを怠らぬよう、また教会員として要求される個人的義しきから少しも離れることのないようにするプログラムにいつも力を貸し与える。

(八) 社交的の集りと運動競技の集りを監督する。

## 十八、事実調査委員会 (Fact Finding Committee)

この委員会は必要な教会記録をつけ、定員会の役員およびその他の委員に報告を行う責任をもつ。委員たちは次の各項目を行うことがある。

(一) 定員会の出席簿と議事録とをつける。  
(二) 伝道部へ提出するために定期の定員会報告をつくる。

(三) 歴史的の出来事を記録し、調査を行い、統計をつくり、図表を製作して定員会の役員その他が現在の進歩状態およびとくに注意を要する事に気づくようにする。  
(四) 軍務に服している人たちを入れて、家庭から離れているすべての定員会々員にすくなくとも毎月一回手紙を出すこと。

(五) 軍務に服している定員会々員すべてに対し「インブルーヴメントエラ」および「デゼルトニュースのチャーチセクション」が送られるよう定員会の費用で予約を行うこと。

(六) 定員会のニュースをのせた会報を出したり、「チャーチニュース」そのほかの刊行物に適当な記事や宣伝発表を出すようなことを含む定員会宣伝プログラムを行う。

## 神権者活動プログラム (Priesthood Activity Program)。

一、毎年、可能な所では、定員会々長会の一人が定員会の会員とただ一人だけの会見を行って、教会員として守るべき標準について話し合う非公開の面接を一度為すべきである。

この会見の行われている間に考慮するとよい項目は自分の一を納めること、安息日を守ること、聖餐会に出席すること、茶、コーヒー、タバコ、酒、麻酔性の飲料をいっさい避けること、家族の祈りを行うこと、言葉でも行いでも教会の大幹部および地方の幹部を支持すること、教会の秩序に反対している背教者の群と言葉においてもその他の行いにおいても同調しないこと、神殿の儀式と系図の探求、教会の行事と定員会の行事に活潑に参加すること。伝道部のプログラムに金銭その他の援助をすること、および各個の場合に考慮してよいと思われることである。

各会見の行われるとき以上の項目を全部話し合うわけではない、またすでに答えがわかっている質問をするわけでもない。自分の一つ一つのことができる。各支部長は、定員会の一人一人についてその支払状況が完全か、一部か、皆無かを定員会の会長に知らせるはずである。しかし、どのような場合にも一人一人の支払金額を知らせてはならない。また定員会々長会は、会員の自分の一支払状況について厳重に秘密を守るべきである。

以上の非公開の会見は巧みに気持よく行い、会員を定員会とそのプログラムに一層近づかせるのが目的であって、会員を追いはらうのがその目的ではない。明らかに以上の会見は、定員会の指導者が定員会の会員たちを義しい道に導ぐために必要な知識を得る絶好な機会であると共に、また比較的活潑でな

い会員たちに教えと勧告を与えて誠命を守らせるよい機会である。以上の会見で得た知識の多くは、毎年行う非公開の報告で報告される。以上の非公開の会見を行うのは定員会の会長会に属する役員だけである。会員が広い地域に散在している伝道部などでは、毎年の地方部大会を利用して、毎年一度の非公開会見の場とするがよい。もし前以て手紙で定員会の会員に地方部大会へ出席するように奨励しておくならばとくによろしい。このようにしても連絡のとれない僅かの会員には、定員会々長会の一人が直接赴いて会見をするべきである。

## 二、活動状況の記録。

定員会々長会は、定員会の各会員について最も新しい個人記録をもって居るべきである。その記録の内容は住所、姓名、電話番号、生年月日、結婚状況、神殿結婚の有無、子女の数と年齢、健康状態、経済状態、職業の種類、事務能力と熟練の程度、仕事と必要としているかもしくは他人に仕事をえ与える能力があるか、教会員として過去の経験、教会員として現在の任務、趣味。毎年行われる非公開の面接から得た非公開の資料はこの記録の中に暗号で記しておくがよい。

## 三、教会員としての任務。

定員会の会員はすべて、距離その他の事情にさまたげられないかぎり、教会員として重要な任務をすくなくとも一つもつべきである。定員会々長会は比較的活潑でない会員に

努めて教会員としての任務を与えるため、支部長と相談をするべきである。支部長が適当な任務を与えることのできない場合、もしくはその会員が申込まれた地位につくのをこわった場合には、定員会々長はこれら不活潑な会員が定員会の委員会もしくは定員会の計画のために働らきをするよう、あらゆる方法を尽して説得につとめなくてはならない。このような場合、定員会の計画は離れなければならぬ。従って、定員会が建てたり得たりした家を手ごろな価格で住ませる。

不活潑な神権者を再び活潑にならせる際、教会員としての任務を与えることは第一のたいせつな段階である。不活潑な会員がまた教会の働らきをし始めるなら、この会員は物質的にも霊的にも一層容易に導きを与えられたい。グルーパーは、これら教会員としての任務を与える計画をする際、定員会々長に援助を与えるために頼りにならなくてはならない。

四、不活潑な会員を再び活潑にするために委員会を利用する。

委員としての任務を与える際、定員会々長会は次の二つの目的をもってはならない。それは(一)自分の管理する定員会の会員に教会のために働らく機会を与えること(二)割当てた任務を効果があるように適切に遂行させることである。従って、各委員会は、企画されたことが必ず成功するように、活動的な委員長を頭に通常数人の活潑な会員によ

って構成される。それから、各々の場合、数人の比較的活潑でない会員を招いて委員会のために働らくようはげましを与えるべきである。仕事をするために定員会の会長会はいつも活潑な会員にだけたよってはいはならない。むしろ、不活潑な会員たちにはとくに強調して、全会員の間に神権者として働らく特権をもれなく与えるようにしなくてはならない。伝道部では通常、定員会の会員が離れなければならぬ。従ってこのような活潑化のための仕事の指令は地方部大会のときの神権会の際に与えて、通常団体をもとにして実行をする。

五、定員会の活動と計画。

可能な定員会活動と計画とに関する説明ならびに提案として次のように示した。

- A、社交的、レクリエーション的活動
  - (一)定員会、グループおよび家庭を単位として催す晚餐会とパーティ。
  - (二)定員会々員が団体で映画、音楽会、演劇ダンス、その他公けの催しを楽しむに出かけること。
  - (三)ソフトボール、野球、ゴルフ、ボーリングのような運動競技、これらは会員の妻も含んで、社交活動の後で行う。
  - (四)魚釣り、狩猟のための旅行。
- (五)国立公園、教会の歴史に関する土地その他意義の深い土地へ旅行すること。
- B、福祉更生活動。
  - (一)定員会々員およびその家族の人々に恒久的の職を与えるか、またはもっとよい職を与えること。
  - (二)理髪業、洋服仕立業、美容、クリーニングその他の商売をしている会員たちの後援をすること。(三)自分の家をもっていない会員たちに経済上の忠告を与えたり、建築の助けをしたりして、自分の家をもつ助けを与える。また定員会が建てたり得たりした家に手ごろな価格で住ませる。
  - C、基金調達計画。
    - (一)宣教師のためにまたその他定員会の目的遂行のための基金を得る目的で、成功している定員会は次のような計画を実行している(二)教会発行のいろいろな書籍および系図に必要な品々を販売することを特色とする本屋(これは教会堂の構内で行ってはならない)。
    - (三)穀物、枯草、木綿、ポテト、砂糖大根の他の収穫をする。
    - (四)「注。バザーなどで売店を設けるときは日曜を避けること。また「知恵の言葉」で禁じてあるものを売ってはならない)。
  - D、市民としてのまた教会員としての働らき。
    - (一)国家の行事の後援を行う。墓地の美化清掃、運動場の建設と美化清掃などの後援。
    - (二)神殿へ行くことの促進。「ペディグラーチャート」および「ファミリー・グループ・シート」の作製、家族の歴史を書くこと
    - (三)支部系図協会との協力を含む系図探求。
    - (四)定員会の全員が効果的な「プランチティ

「チング」をするように励ます。

④音楽活動たとえばコーラス、四重唱、音楽会などの後援をする。

⑤宣教師の訓練、供給を行ったり、生活の苦しい宣教師を一部助けるために使う基金をつくったりして地方部宣教師計画および外国へ伝道に行く宣教師計画を支えること。

⑥定員会、地方部および支部の会報、「ニュースレター」、地方部および支部の人名簿、教会行事のカレンダーなどを発行したり配布したりする。また教会ならびに商業的出版物にニュースとなる記事を送ること。

⑦家庭を離れて住んでいる定員会の会員と通信をすること。軍務に服している会員の場合には定員会の基金で予約した「インプルーヴメントエラ」と「チャーチニュース」を無料で送ること。

⑧定員会の会員とその家族とが聖餐会、補助組織の会、地方部大会、定員会の集り、支部および地方部で催おすとくべつの会に必ず出席するようにする。

⑨神権者の執り行ういろいろな儀式に必要な正しい方針と手つづきを教えること。

⑩定員会の会員とその家族がすべての定員会の集り、地方部の集り、支部の集り、社交活動およびいろいろの活動に出られるよう交通機関を準備すること。

⑪教会発行の文獻とくに四部の標準聖典、現在運営されている定員会の図書などを読む

こと。

⑫定員会の会員全部が、手に入れることのできる教科書をもって勉強ができるように気をつけるためクラスの教師と協力をする。

⑬定員会活動の有様を写真にとるようなとくべつの活動。

これまで挙げたのはただ提案したにとどまるものであって、機敏な定員会々長会は各地方の条件にもっと適しているほかの計画をみつねるにちがいない。定員会々員もしくはユニットの会員が広い地域に離ればなれになって任んでいるところでは、郵便で出来ることのほかに以上の活動の大部分は実行できないかも知れない。

六、不活潑な会員を再び活潑にするために家庭集会を利用する。

教会の宣教師計画の一部として求道者の家庭で家庭集会を催すことは、福音教授の最も有効な手段の一つであり、また真理を求める者を教会に入らせて、真理の道に完全に改宗するという目標に導びく最も有効な手段の一つである。神権定員会もまた、定員会に属している不活潑な会員を改宗していない会員たちを活潑にするため、これと同じ方法をつかって成功を収めることができよう。

この目的は不活潑な会員の一家族、もしくは都合よく一しよに集ることができるようなら二三家族と共に集ることによって達することができよう。「標準宣教師計画」の中にあ

る正規のレッスンである「福音教授用の組織的プログラム」をこれらの家庭集会で使うのもよい。たとえ種々の事情によってそのほかの資料をつけ加えて教えずなくてはならなくとも。

宣教師計画の中にあるレッスンを教える際には、すでに宣教師の訓練を受けている人に教えてもらった方が賢明であろう。不活潑な会員に家庭集会をすることは伝道部に至極適している地域では、末日聖徒がたくさん集って任んで行う地域はもちろん、今グループや定員会が組織運営されている遠隔の地方でも有効に行うことができる。

定員会の会長会は、定員会の会員たちをあげまして定員会委員会および定員会の計画のために働かせ、個人的に宣教師として近づき計画を利用させるべきである。このプログラムのものにおいて、定員会に属する活潑な会員は、非公開でまた個人的に不活潑な会員とつきあって活潑にならせる努力をするように任務を受ける。そのときには、仕事の上でも、社交の上でも、市民としても、レクリエーションの時に、あらゆる時にあらゆる方法で不活潑な会員の信頼を得るように努め、以て活潑な献身的な会員となるように導かななくてはならない。

(「メルケゼデク神権の手引き」(伝道部用)より)

# 神にしたがうとき、個人の自由は害せられるか

## 質疑応答

解答者 ジョセフ・フィールディング・スミス長老

### 質問

「ちかごろ私たちはクラスですべてのことに従順なれという問題を論じました。そして討論中に次のようなセネカのことばについて考えました。それは、

「われわれは生れながらにして神に従属するものである。されば神にしたがうは完全な自由である。神にしたがう者は自由、安全、幸福を得るにちがいない。

「この完全な自由というところが問題になり、いろいろ討論しましたが、ついに意見が一致しませんでした。それでこの問題についてあなたの御意見をきかせていただきたいと思います。

「もしも私たちがおなじ考えを受け入れるように強制され、個性と発表の自由とが否定されたら、どうしてそこに完全な自由があるのでしょうか。どうか教会の考え方にもとずいてお答え下さい。これは個人の自由と、種々の問題について自分の考えを発表する個人の権利に干渉することではないでしょうか。何とぞ福音の考え方にもとずいてお答え下さい」。

### 解答

セネカ（ルーシヤス・アネイアス）は西暦第一世紀のころに居たローマの哲学者兼文人である。セネカが主イエスに親しく会ったとは考えられないが、使徒パウロをいくらか知っていたという伝説があるから、セネカはパウロから福音の真理をいくらか聞いて知っていたかも知れない。これがほんとうかうそかははっきり言っていない。しかし、クラスの人々が、疑いをさしはさんだことばは、ひじょうに重要なことばである。

われわれはみなこれまで個人の自由意志という教義を教わっており、何人も強制そのほかの方法をもって神の命令や考えに従われないということを知っている。またわれわれは、昔先在の世において天に叛乱がおこり、前から大いなる権能をまかされていたある著名な者が謀叛をして、彼とともに多くの者をつれ去ったので、この者は神の王国から追い出されなくてはならなくなったことを教わっている。しかしながら忘れてならないのは、日の栄の王国に存在しているあらゆる原理と法則は、これらが存在してきた永遠を通じて完全にであると証明されていることである。もしも誰かが日の栄の王国に昇る価値があることを自ら証明するならば、それは現在存在しているあらゆる原理と聖約とを厳密に守り行った結果であるにちがいない。従って、日の栄の王国に関するあらゆる法則と原理とは完全であるから、それに訂正を加えたり不用であるとしてすてることはできないと確信することができるであろう。しかし、今述べたような状態のもとにおいて、どの原理や誠命について判断や意見のちがいが起り得ると信ずる根拠はない、それはあらゆるものがすでに完全の域に達しているからである。

われわれの永遠なる父の神はこれまでに多くの世界をつくり、これに人を住ませ、これらの人を無数の世を通じて完成におもむか

せておられるから、あらゆる神の律法と誠命は完全無欠に試験済みであつて、日の栄の王国に昇つた人がその王国の状態を改善するためにどの原理や誠命でも不用であるとしてすてたり、または何らかの方法で訂正したりすることのできる状態はどんなときにもくるとはしない。

千八百三十一年五月、オハイオ州カートランドで予言者ジョセフ・スミスに啓示された原則と真理こそ、あらゆる時代を通じて人類に与えられた最も光栄にかがやく原則と真理のうちの一つである。この真理は、説明することのむづかしいある理由によつて、当然分別のあるべき多くの人々から批判をされたが、あらゆる時代を通じておそらく最も大きな真理を世の人々に知らせた「予言者、啓示を受くる者」という証印をジョセフ・スミスの上に捺している。それにもかかわらず世の人々はこの真理を受け入れようとしない。また悲しいことであるが、この教会の会員であると言っている人々の中にもこの啓示の正しいことに疑いをもっている人が多い。その啓示のことは次の通りである。

「人を徳に導かざるものは、神によらず暗黒なり。その光明を受けて神に従ふこといよいよ久しき者は、その受くる光明いよいよ明らかなり。その光明いよいよ明らかとなりてついに完き屋となるべし」(教義と聖約五〇・二十三、二十四参照)。

この神の光である真理を見出した者がみな日の栄の王国に昇るのはいつであるかを示している、これと同じような啓示がもう一つある。

「真理のみたま神より出ず。われは真理のみたまなり。ヨハネわれにつき記録をなして言えり。彼は完き真理を受けたり。すなわち完全にあらゆる真理を受けたり。而して、人もし彼の誠命を守らざれば完きを受くることなし。

「彼の誠命を守る人は真理と光を受け、ついに真理によりて栄光を得、すべての事物を知る」(教義と聖約九十三〇・二十六・二十八参照)。

ここにおいて、われわれは日の栄に昇るにふさわしい者は知識と知恵と真理と光にめぐまれ、従つて彼らは主とおなじくついにすべての事物を知つて光と真理に全く浴することを知る。この時がきたとき、いかなる意見の相違もあり得ないであろう。このときには不満を抱いている野心家、もしくはどのような個人的考えを入れたいと思う者、もしくはあらゆるものを完全な状態に支配している法則をかえたいと思う者はあり得ないであろう。このような完全な状態に住む者の喜びは完全であるから、意見の相違もしくは相反する考えの起るわけがない。人間のもっている弱点と不完全なところはすべて掃い去られて、日の栄の王国に昇る人々は完全な状態で知恵と光と真理に浴するにちがいない。

もしもこの秩序をかえたいと思う人もしくは人々があるとするならば、完全な秩序はもはやないであろう。完全の永遠なる状態にすべてにとどいてるのであるから、どのような人もしくは人々の集団も変更を必要とする原理や誠命を見出し得ないであろう。真の自由は神の律法に従ふことによつてのみ来る。これはこの仮の世においてさえ真理である。いわんや日の栄の国では当然なことではないか。父なる神の住みたもう日の栄の王国には何の強制もない。この日の栄の王国にまで昇るすべての人は、そこに何の不調和もあり得ないことを悟るにちがいない。またその王国に住む者が「黒ずんだレンズ」を通して見ないではっきりと見るとき、何の論争もおこらないにちがいない。個人の野望は肉体の欲望がもたつておこるものである。神の王国ではそこに入る人々が、肉に属するすべての弱点と野望を死と共になくしてしまつていたので、神の王国に入っ

たときはけんそんと従順と聖なる愛とを知っているにちがいない。

山上の垂訓で救い主が「それだから、あなたがたの天の父が完全であられるように、あなたがたも完全な者となりなさい」(マタイ伝五〇四十八)と仰せになったことばを、多くの人々は明らかに適用をあやまったり適用に制限を加えたりしている。救い主は、肉身をもっている人間が天の御父のように完全という大きな目標に達することはできない、ということを知っておいでになったけれども、この仮の世の中はその目標をすえるべきところである。そこでわれわれは、この世ばかりでなく来るべき永遠の中においても、めぐみからめぐみへとつづけるべきであって、そうすれば忠実な人は誰でもその完全に達する可能性がある。また、

「イエスは自分を信じたユダヤ人たちに言われた、もしわたしの言葉のうちにとどまっておるなら、あなたがたはほんとうにわたしの弟子なのである。また真理を知るであろう。そして真理はあなたがたに自由を得させるであろう」(ヨハネ伝八〇三十一—三十二)。

真の自由は神の律法に従うことよってのみ来る。神の王国には何の強制もない。知恵と真理の愛と従順はわれわれを自由にする。人が真理の道と神の律法とをふみ行わなくなるや、ただちに彼は罪にまけて罪の奴隷となる。次のヤコブのことばの中には人がふつうに考えている以上の真理がふくまれている。

「なぜなら、律法をことごとく守ったとしても、その一つの点にでも落度があれば全体を犯したことになるからである」(ヤコブ書二〇十一)。

このことばの真の意味は何か。それは完全な律法に従うことによ

ってのみ約束された祝福が授けられるということである。

われわれがこの死ぬべき肉体をもった世に生きている目的は何か。それは肉による誘惑と試れんと艱難に会っても、われわれが忠実な態度をかえることなく神の王国である日の栄の最高に昇る資格があるかどうかをためすことである。これこそわれわれがつねに努力して追求している、いな追求なくてはならぬ目標であり、また予言者リーハイが喜びと定義した完全な生活をもたらずものこそ誠実と忍耐である。



# 信仰講話



信仰の目標（対象）

第三講つづき

四十、モーセがさらに告げているところによると、セツはエノスの父になってから八百七十年生き、その死んだときは九百一十才であった。またエノスはカイナンの父になってから八百五十年生き、その死んだときは九百五才であった。またカイナンはマハラレルの父になってから八百四十年生き、その死んだときは九百十才であった。またマハラレルはヤレドの父になってから八百三十年生き、その死んだときは八百九十五才であった。またヤレドはエノクの父になってから八百十年生き、その死んだときは九百六十二才であった。またエノクはメトセラの父になってから神とともに三百年歩み、その生きながら天にあげられたときは三百六十五才であった。またメトセラはレメクの父になってから七百八十二年生き、その死んだときは九百六十九才であった。またレメクはノアの父になってから五百九十五年生き、その死んだときは七百七十七才であった（創世記五〇一—三十二、教義と聖約百七〇—四十九を参照）。

四十一、以上の記事にある通り、アダムはこの世が始まってから第九百三十年に死んだ、而して、エノクが生きながら天にあげられたのは第九百八十七年、セツは第千〇四二年、エノスは第千四百

これは千八百三十四年から同三十五年の冬季  
間、オハイオ州カートランドで行われた「長老  
のクラス」で述べられた講話である。

十年、カイナンは第千二百三十五年、マハラレルは千二百九十年、ヤレドは第四百二十二年、レメクは千六百五十二年、メトセラは第六百五十六年に死んだ。大洪水があったのはメトセラが死んだ年であった。

四十二、これによってノアはエノスが死んだ年に八十四才、カイナンが死んだ年に百七十六才、マハラレルが死んだ年に二百三十四才、ヤレドが死んだ年に三百六十六才、レメクの死んだ年に五百九十五才、メトセラの死んだ年に六百才であった。

四十三、また以上によってわれわれは、エノス、カイナン、マハラレル、ヤレド、メトセラ、レメクたちはみな、アダムもノアもよく知っていたことがわかる。

四十四、さらに以上によってわれわれは、神に関する知識がどのようにしてこの世へ入ってきたかということばかりでなく、どのような原理にもとずいてそれが保存されたかということ、またその知識が始めて伝えられたときから義しい人々の心の中にとどめられ、義しい人々は自分の子孫にその知識を教えたばかりでなく世の人々にもその知識を教えた、それであるから、アダムの創造以後ノアに至るまで、神の存在という最初の考えもしくは観念を人

間に与えるために新しく啓示が与えられる必要はなかったということが容易にわかる。

この神は単なる神でなく、眞の生きてまします神である。

四十五、さきにアダムからノアに至るまでの年表をしるしたから、この度はノアからアブラハムに至るまでの年表をたどってみることにする。すなわちノアが五百一才のときにセムが生れたが、それから九十八年後すなわちノアが六百才のときに大洪水が起きた。モーセの伝えるところによるとノアは洪水の後なお三百五十年生きて死んだが、そのとき九百五十才であった。

四十六、セムは百才のときアルパクサデの父となり、アルパクサデは三十五才のときサラの父となり、サラは三十才のときエベルの父となり、エベルは三十四才のときペレグの父となったが、ペレグの時代に地がわかれた。ペレグは三十才のときリウの父となり、リウは三十三才のとき、セルグの父となり、セルグは三十才のときナホルの父となり、ナホルは二十九才のときテラの父となり、テラは七十才のとき、ハランとアブラハムの父となった。

四十七、アブラハムの誕生に関するモーセの記事には異議があつて、或る人はアブラハムが生れたのはテラが百三十才のときであつたと考へている。この結論はいろいろの文献をもとにして出されたものであるが、今これを引用するのはわれわれの目的ではない。また、アブラハムが生れたのがテラの七十才のときであろうと百三十才のときであろうとそれは重要なことではない。しかしながら、今われわれが年表を考へている場合に問題をはっきりさせる必要上、アブラハムの生れた年を最も近い時期、すなわちテラが百三十才であつた年にしよう。この説明によれば大洪水から

アブラハムの生れたときまでに三百五十二年たつていふと思われ

る。

四十八、モーセの記事によると、セムはアルパクサデの父になってから五百年生きたが、アルパクサデが生れたのはセムが百才のときであつたから、セムの死んだのは六百才のときである。アルパクサデはサラの父になってから四百三年生きたが、サラの生れたのがアルパクサデ三十五才のときであつたから、死んだ年は四百三十八才であつた。サラは三十才のときエベルの父となりその後四百三年生きて四百三十三才のとき死んだ。エベルは三十四才のときペレグの父となり、その後四百三十年生きて四百六十四才のときに死んだ。ペレグは三十才のときリウの父となり、その後二百九年生きて二百三十九才のときに死んだ。リウは三十二才のときセルグの父となり、その後二百七年生きて二百三十九才のとき死んだ。セルグは三十才のときナホルの父となり、その後二百年生きて二百三十才のとき死んだ。ナホルは二十九才のときにテラの父となり、その後百十九年生きて百四十八才のとき死んだ。テラは百三十才のときにアブラハムの父となり、その後七十五年生きて二百五才のとき死んだと思われる。



## 西支部鍬入れ式に臨んで

渡 部 正 雄

(東京地方部第一副地方部長)

主よ願わくは、主が誠に建てよと命じたまいしこの宮居、すなわちわれら僕の手の工によりて成りたるものを受けたまえ。主はわれらが大きいなる困苦をもてこの事業を為したるを知りたもう。われらは乏しきうちよりわれらの財を捧げ、「人の子」のその民に現われたもう場所を得たまわんため、主の御名のために一つの宮居を建てたり。

これは一八三六年三月二十七日、オハイオ州カートランド神殿の献堂式に於て、予言者ジョセフ・スミスによつて捧げられた祈禱文の一節で啓示によつて彼に与えられたものである。

すでに昨年秋九月三十日の鍬入れ式により、その後尊い労働宣教師の血と汗によつて着々と基礎工事が進められている北支部に次いで一九六三年の元旦を迎えた、このよき日、最初の安息日六日の午後三時、吉祥寺の駅近く武蔵野大平原の一角に遙かに初日に輝く霊峰富士を眺めながら東京西支部の鍬入れ式が厳粛に行われたのである。

伝道部長会、建築委員会、地方部長会、評議員会、西支部長会始め会員その他アメリカ側の信者も多数参加、約二百名近い人々がこの厳かな式典に参列し待望の西支部教会堂の完成を祈ったのである。北支部の工事で負傷し尊い血まで流した労働宣教師石川善次郎兄弟がまづ開会のお祈りを捧げた。私たちが横浜の方から電車で来る時、東京の方は黒雲に覆われて雨ではないかと恐れたのであったが不思議にこの時、黒雲は何処へか消え失せ、快晴の青空に輝きわたる初日の光は、日々の尊い労働に陽やけした石川兄弟の頬を照らし、汗のこもった底力のある声は人々の胸を打った。

昨年十一月の大会で大神権を受け、その後西支部支部長会の一員となった、地方極東伝道部唯一の台湾人鄭兄弟の司会によつて、会は進められて行った。今日の日を迎えた鄭兄弟の喜びは人一倍であ

ろ。西支部が数年前の千歳幼稚園時代から神権会の始まる時、何時でも彼の顔が見え、屢々宣教師を除くことだけのことがあった。私たちは鄭兄弟の神権会が始まったなどからかかったものであった。

開会の祈りに次いで西支部長浅田恒則兄弟の挨拶があった。五年程前、二年間の伝道を終えてから。ずーっと西支部が三鷹の労働会館に借家していた時代、吉祥寺の千歳幼稚園時代又一時は荻窪に移ったが現在の表参道に至る迄、引続いて西支部に籍を置きその指導に当られ、田中兄弟、野口善次郎兄弟、佐藤竜猪兄弟、小室敬兄弟、福田真兄弟の各代支部長の後を次いで昨年始めより今日迄支部長をつとめて来られた浅田兄弟の顔は喜びに輝き、その声は歓喜にふるえていた。この一千坪余りの素晴らしい土地も浅田兄弟が四年程前に最初に発見されたそう。

次いで私は地方部長会を代表して挨拶に立ったが、私は西支部会員御一同とお祝いの言葉を述べた上特に西支部にとつて忘れることの出来ない今は亡き二人の兄弟に就て、彼らが霊界に在って、今日の日を我々と同じように、どんなにか喜び迎えているであろうと述べた。その一人は西支部支部長として支部の為に、具合いの悪い体をも顧みず、夜を徹して働られ遂に病の床に斃れた野口善次郎兄弟であり、もう一人は、曾て西支部副支部長をつとめた、その後一年間の闘病生活に於て、家に居残る家族に又病院の病床に迄、迫る日夜の他宗徒の改宗勧告にも毅然として雄々しくその信仰を守り、「私はモルモンとして死にたい」と最後迄その説をまげずに逝った勝又二郎兄弟である、前アンドラス伝道部長も昨年春西中央地方大会で彼の計報を受取つて「彼こそモルモンの模範である。彼に見習いなさい」大会壇上で感謝の涙の声をふるわされたのであった。その後二人の遺児を育てながら生活と戦つて居られる照美姉妹は今日は丁度遠方よりお客さんを迎えられて居られたにも拘わら

ず是非この式典にはと、馳せ参じて感謝の涙を流して居られた。勝又兄弟は病床にある間、よく付き添つて居られる照美姉妹に向つて「僕が病気がなれる頃には、あの土地に素晴らしい教会堂が建つてあろうから、一諸に、家族中で教会守りとなるうよ」と希望の眼を輝かして語つて居られた。今幽明境を異にして、この歎入れ式を迎えられた御夫妻の御胸中を察する時、誰かその眼頭の熱くなるを覚えないであらうか。照美姉妹はやかてこの伝道部に続いて建つてあろう神殿での結び固めの儀式を、さぞかし待ち望んで居られることであらう。

現に私に次いで立った建築監督のメルビンヘルズ兄弟は今日ヒンクリー長老の予言は実現したが、やがてこの伝道部に新築の教会堂に並んで、教会の学校、病院などが建ち続けて行くであらうと、我々に更に大きな希望の光を与えた。

次いで吉野第一副伝道部長は北支部建築発足以来、奈良兄弟夫妻始め労働宣教師がすべてを犠牲にし、特にその尊い時間を捧げて建築事業に奉仕して居られるのに対し深く感謝の言葉を述べられ、又勤労に金銭に多大な奉仕と協力をして下さっている、アメリカ側の信者に対しても厚く感謝の意を表された。

最後にアンダーセン伝道部長は私たち会員に向つて出来るだけの尊い事業の手伝いをするように激励され、御自身勤労に参加された経験を通して、誰にでも出来る種々の仕事があり楽しく働らせるからは是非この勤労に参加して見るようにと強調された。又最後に、ネブカデネザル王の夢を説きあかしたダニエルの予言を引用して、この日本の地に於て神の王国である石をころがして大きくして行く責任は皆さんの上にあると私たち日本の末日聖徒の責任の重大なことを反省自覚させられた。

開式後も続々と集い来る日米両国の喜びの聖徒たちに、さすが干

坪余りの敷地も狭く感ぜられるに至ったのである。

西支部書記であり労働宣教師である松島烈偉兄弟の閉会の祈りに次いで伝道部長さん始め役員、会員の手によってこの聖められた土地の一塊が掘り起されたのであった。

喜びに溢れる日米両国の聖徒たちは、この武蔵野の聖地を去り難く、名残りを惜しんで暫く楽しく語り合っていたが、いざ帰途についた時やっと府中での集会を終えた、米会員の一行が伝道部コーディネイターのフランク兄弟及び地方部長のグリフィン兄弟を先頭に車で駆けつけ敷地の側の細道は出る人、入る人で一時混雑を極めた。フランク兄弟たちは残念ながら式には参列出来なかったが一塊でもこの武蔵野の聖地を起して出来るのだと威勢よく車を進めたのであった。

遙か武蔵野の地平線に浮ぶ雪峰富士がすっかり西に傾いた夕陽に映えて、正月の寒風が肌に気持よく、聖徒たちはこの年頭の式典で充たされた主のみたまど希望の光を胸に抱いてそれぞれの家路に向ったのであった。



東京西支部教会堂鍬入れ式

63年1月6日



# 支部だより

## 旭川支部

十二月二十日、私たちは期待に胸をふくらませていたクリスマス・パーティーの日です。この日の旭川支部は大変に暖かい日であり、確かにこの日は、私たちがクリスマス・パーティーを開くのに最も良い日でした。会場の旭川公会堂には大勢の人々が集っています。まもなくオルガンの前奏がはじまり、続いて司会者が開会の歌と祈り者を発表し、「聖しこの夜」のメロディーが流れ、それとともに全員が合唱に参加しはじめた時から、そこに神様の愛があり、そこに集う全ての人がその愛を実感として感じ取り、そこに非常によい雰囲気が生じてきました。お祈りが終り、私たちは再び全員でクリスマスの歌を二、三曲合唱し、MIA主催の劇が発表され、いくつものグループのタレントが紹介されました。この中に宣教師たちと姉妹たちのハワイアン・ダンス、花笠音頭、ソーラン節等の踊り、兄弟姉妹たちのコーラスや奇術があった。

福原兄弟、姉妹と「恵ちゃん」「健ちゃん」「マコちゃん」の加ったモルモンの家庭らしいなごやかな雰囲気でした。若い姉妹と兄弟たちに強い印象を与えたようだ。

昨年の夏、福原兄弟、姉妹の恵ちゃんのパプテスマに引き続いて、同じくモルモン家庭の遠藤兄弟姉妹の長女、真美子ちゃんがパプテスマを受けた。このように、旭川支部に、次々とモルモン家庭が築かれてゆき、二代目のモルモンが生れるようになってきたことは教会の発展を目のあたりにするようで、ほんとうに喜ばしいことです。

新年を迎えて支部の組織も新しく衣替えすることになった。

支部長会書記として、新たに盛長保兄弟を迎え、前支部長の福原俊明兄弟は書記補助としてにらみをきかせることになった。

MIAの会長として、木崎正己兄弟、吉田順子姉妹、扶助協会会長に山地陽子姉妹がなります。

その他、神権会の強化と各委員会の創設によって神権者を中心として支部を進歩させる色々な活動がより積極的に進められます。

## 甲府支部

新年おめでとうございます。今年もまたこの支部だよりを通じて各支部の兄弟姉妹とより密接に交流をしていただけるよう頑張りたいと思います。昨年度は甲府支部にとって非常に大きな革新の年でありました。昨年度改宗者も二十六名というわけで伸びました。甲府支部にとって明るい光となりました。すべての会員は宣教師である。というメッセージが大管長のメッセージを思い起し今年も又一人一人の道を求めて進んで行くでしょう。

◆十二月  
◇クリスマス  
◇一月の第一安息日 新春と共に一人の兄弟と二人の姉妹のパプテスマが行われました。杉山たかし兄弟、雨宮節子姉妹、鈴木みえ子姉妹で新しいパプテスマルーム（伝道本部から送られたものでビニールで作られている）で行われた。この日昨年甲府支部が支部長としての責任を果たされた菊地長老よりの手紙の強い証詞が読まれ人々の心に強い感銘を与えた。

◇クリスマス  
（一）クリスマスキャロル（十二月二十三日）  
市内の病院めぐり

（二）明生学園の慰問（十二月二十四日）  
紙芝居、讃美歌のコーラスなど楽しい一時を孤児園の子供たちと共に過した。地には平

度お知らせします。

## 岡 町 支 部

一九六二年も終りに近づき、それと共に救主イエスの御降誕をお祝いするクリスマスシーズンとなりました。岡町支部では十二月二日を皮切りに二十四日迄いろいろな行事をして神様が私たち人類に下さって大きな愛を感謝し、キリストに類する思いを新に致しました。

●十二月二十日 MIAクリスマスパーティー  
岡町支部MIAには演劇、ダンス、音楽、絵画、英語の五つの活動クラスがありますがこの日は各クラスでそれぞれ出しものを準備しその発表をすることになりました。

開会時刻の六時半にはいつもの殺風景なホールも役員たちや絵画部の人たちの努力で見違える程美しく飾りつけができて上って地方部MIA会長の田口兄弟、姉妹をお迎えして牧瀬会長の司会で始めました。クリスマス美しい歌の数々を唱った後、出席者全員でプレゼント交換。集められていたプレゼントは少々目方が軽そうに思われるサンタさんの手で一人々々が軽さの後念を入れてレコーが止る迄順番にまわされました、その中の一つ一きわ大きく立派な包みがありそのの当たった一姉妹は大喜び、早速あけてみるとまず出て来たのはクニャーとしたねずみ色のもの、その弟妹はわけもわかずキャー！恐る恐る皆も近づいて良くみると何と一匹のオコゼという魚、まだ箱の中に何か残っているでギョッとつかんで引き出した弟妹、又もやギ

ャー！今度は長さ五〇cmもあるかと思われるような太い太い牛の足の骨、後でその骨はオノで割ってやっとおかまに入れスープをつくとか、大変おいしいスープだったということです。一人の長者は大きなコッペンを発表し本も当って有頂点、皆にプレゼントを発表した時にはもう半分以上お腹の中に入っていたので大笑い、あとはまわりの人に分配して喜びを分かち合っていました。

その後演劇部が「靴屋のマルティン」を上演、一人々々の胸に訴える大熱演で私達は改めて我支部の演劇部の進歩に目を見はりました。

## ●十二月二十四日

岡町支部でも例年のようにクリスマススキヤロールを行いました。午後五時半に教会に集合。少し練習をして六時教会前を最初として六十余人の熱心な兄弟たちは坂本泰造岡町支部フーラス部々長の引卒、秋元彬江、絃江両姉妹の指揮で約二時間半の間美しい歌を（練習の時よりも皆はりきって素晴らしいででした）あちこちで唱いました。心に豊中市民病院前でのコーラスは全員が心を一つにして今迄になかった程真剣に歌い、窓から首を出してさげ下さっていた入院中の人たちからアンコールまで頼まれる程で皆寒い中でも主を讃美し、まだキリストを知らない人に本当のクリスマス喜びを唱い伝えて歩くことにこの上ない幸せを感じました。

この他十二月二十二日ダンスパーティー、二十三日クリスマスマズ礼拝、二十七日支部忘年

会、一月三日新年パーティーなどいろいろありましたがその時のことは機会があればまた御報告することになります。

一九六三年も世界各国で私たちのこの真の教会が発展して行くことを祈りしています。十一月十日（土）支部全体で張り切って待っていたバザーが開かれました。幸に快晴に恵まれ午前八時から売場食堂の準備を初め、八時半、「今日のバザーが成功し、事故もなく守られますように」とお祈り会が開かれました。九時少し前からお客様の姿が見え、午前中は大した混雑が見られず食堂の方も落付いて上々の味を楽しんで頂くことができましたが、午後からはほとんどお客様がふえて場内はどこも満員の盛況で、食堂の方は猫の手も借りたいと云う言葉通りの忙しさでした。カレイライスの外、みつ豆、ぜんざいフルーツパイ、かやくうどん、ジュースやMIAのおでん等皆売り切れ大成功でした。扶助協会が一生懸命製作した売場の外、電気製品、缶詰、洋品雑貨、呉服売場があり、殊に今年にはMIAはおでん、日曜学校は画に堪能な兄弟姉妹がのれん、エプロン等にお客様のお好みの絵を書いてその場で売ると云う趣向が喜ばれました。奥のホールでは宣教師による子供相手のゲームが面白く、大人も子供も大喜びで人気を集めました。バザーの総利益は七万田余と云う支部のバザー初まって以来の成績を収めて感謝いたしました。

## 札幌支部

十一月二十三と二十四日、勤労感謝の休日と、土曜日とを利用して、支部予算獲得のため、食事のバザーを開きました。

扶助協会の姉妹たちを中心に、会員、求道者、総動員で、大変盛大なものとなり、二十三日は、お休みとあつて、会場にあつた会堂は常時満員でした。普段は、オルガンや椅子が整然と並べられている会堂も、この日ばかりは、兄弟達がつづてくれた数卓のテーブルに白い布をかけ、お花をいけ、美しい表紙の「聖徒の道」を置き、かわい器にまっかなりんごを入れて添えると、とても明るく楽しいな雰囲気になりました。お部屋の前と後にストーブが備えられています。静かな音楽の流れる中で、おもしろい、湯気の上がる料理を食べながら、誰か彼かの家族やお友だちと言葉をかわすのですから、とてもなごやかでした。

さて、調理室をのぞいてみましょう。各品目ごとに火と食器などが割当てられています。三、四人の係がつきつきりて注文に応じます。主に中学生と高校生がやっているウェイトレスが、注文の品と数をつげると、係はチームワークよろしく大急ぎで盛りつけます。アイスクリームが店からとどかず、全体に影響してしまいましたがその他は準備もよく、ほぼ順調に運びました。洗面所では三人づつ交替で、専門に食器洗い。湯わかしのガスがもれるので、涙がポロポロ流れたり

むせたりで、窓をあけると冷たい風が入って散々ですが、楽しそうにやっています。

満足な設備もなく料理に自信のある姉妹も少なく、少々不安でしたが、察するより安んじ、(案じのおかけかもしれませんが)結構でした。

兄弟たちやお母さん姉妹から、中学生の姉妹にいたるまで、それぞれの持場で熱心にくふうをこらして、本当に良く活躍しました。

ラーメンの主任さんはデパートの食堂まで出かけて作り方を習い、毎晩実習したそうである。会員ではない旦那さまがお気の毒でした。毎週大会に来ていた坊や二人は、喜こんだそうです。

一日の仕事が終わって外に出ると、お昼頃からチラついていた雪が五、六センチも積っていました。疲れた体に冷たい雪が降りかかってとても良い気持でした。

参考までに

|        |     |         |     |
|--------|-----|---------|-----|
| ラーメン   | 60円 | ケーキ     | 40円 |
| カレーライス | 50円 | アイスクリーム | 30円 |
| いなりずし  | 50円 | ミルク     | 20円 |
| ぜんざい   | 40円 |         |     |

姉妹達の作った枕カバー50〜150円と、前日宣教師の姉妹達のやいたパイ150円とクッキー20円、リング10円を即売、

売れ残りの「聖徒の道」を自由に持ち帰ってもらいました。材料はあらゆる手段を利用して安く入手。収益三万八千円で予想以上で

した。

## 西宮支部

○十二月八日(バザー)

師走の風も冷く、道行く人々にもようやくあわただしい年の瀬を感じさせる頃、当支部の扶助協会による初めてのバザーが開かれました。幸いお天気にも恵まれて、兄弟達の協力により売行きは上々、一時から二時頃迄は目も廻るような忙しきでした。食欲旺盛な兄弟たちはこの時とばかり、日頃は上品なそして、体重を気にしている姉妹たちでさへも、「ぜんざいにおうどんとケーキそれぞれお寿司を食べて」などというさきやきがあちこちで聞かれました。

また扶助協会の仕事会で姉妹たちが、一つ一つ丹誠込めて仕上げた作品の数々も、いつしか残り少なくなつて、きわめて盛大にこの催しを終えることができました。そして始てなのに素晴らしい成績だとか始めてにしては上出来だったと云う事を聞くことができました。始めてはと云う言葉を聞くことができません。始めから残念ですが、この経験を生かして来年はもっともっと素晴らしいバザーをと、一同今から張切っております。

○十二月二十日(クリスマスパーティー)  
すっかりクリスマススの装いに色どられた支部に次々と集い来る兄弟姉妹たちはそれぞれ五十円のプレゼントを用意しました。そして特に、この日のために計画されたプログラムの紙、美しいクリスマススのコーラスに始まり、

## 支部だより

鯉谷姉妹の名指揮による楽しい「うた」の  
たり」などで御子イエス・キリストの誕生を  
祝す本当の意味のクリスマススの雰囲気、心  
行くまで浸ることができました。そしてお楽  
しみのプレゼントは、福屋兄弟のお似合いの  
サンタクロースからそれぞれに手渡されま  
した。全部無記名の手紙が附いていましたの  
で、そっと読んで微笑む人、また朗々と発表  
する人など、聖なる夜のひとこまでした。

### 東京西支部

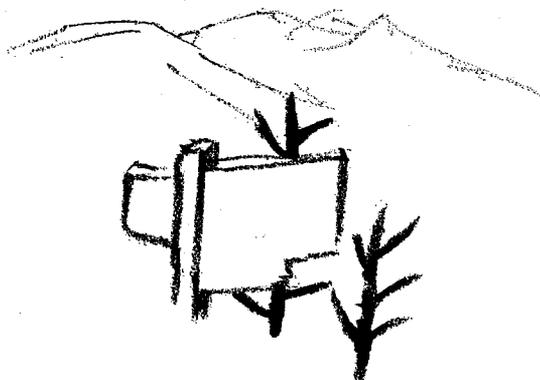
新春のお喜びを申し上げます。兄弟姉妹の  
皆さんお元気ですか。私たち西支部は今、非  
常に活気に満ちた毎日を送っています。西支  
部の中でも数々の恵まれた環境を持つている  
ことを、感謝しています。その教会堂、数多  
くの教室、及び建物や、すばらしい庭園を持  
っていること、また伝道本部には最寄りであ  
り、東京でも非常に静かな場所に教会堂があ  
ります。伝道部長にお会いする機会もたびた  
びあります。その上に、このたび、極東伝道  
部のための建築計画が施行されて、建築委員  
会の事務所が、当支部教会堂の後方に設けら  
れましたので、一段と活気を増して、身に余  
る恵み感謝しています。奈良兄弟姉妹をはじ  
め、多くの勤労奉仕宣教師が西支部所属とな  
りました。ごつくて活潑で、いい男ばかり  
です。そのために、西支部の扶助協会もにわ  
かに忙がしくなり、又、東京各支部の兄弟、  
姉妹は礼拝堂建設、み国建設に熱が入って来

ました。

今、北支部の建築現場は、急ピッチでその  
仕事が進められており、もうじきみごとなた  
ワーもお目見えすることと思います。

西支部では毎週毎週何人かの人が、バプテ  
スマを受けており、主のお恵みを心から感謝  
しております。

各支部の皆さん、今年もより一層進歩し主  
のみ業の成らんことをお祈りしております。



# 伝道本部だより

バプテスマ 一九六二年九月

阿倍野 堀内 芳子 金沢 土門 信子 木皿 良三郎  
 泉原 良子 多田 勝男 樋口 博 小野 聰彦  
 向井 多恵子 鎌田 裕子 廣田 翼 酒向 大二郎  
 旭川 隆光 松垣 順也 川村 敏一 高橋 義典  
 熊谷 政雄 鈴木 敏江 中川 京子 戸部 正敏  
 福岡 竜彦 高橋 幸彦 大室 健旭 萩原 節子  
 秀徳 綾子 伊藤 恵美子 三ノ宮 普天間 明  
 富永 綾子 神山 英夫 石水 博 森 靖子  
 群馬 休 高坂 長生 岡本 明子 脇若 文子  
 新居 栄子 竹之内 勝美 多田 羅美 弓削 汎  
 酒井 栄子 高坂 長生 岡本 明子 脇若 文子  
 沢口 保 室 蘭 山本 正人 矢野 剛  
 渡辺 しづれ 千葉 俊美 札 幌 飯塚 剛  
 廣島 鈴木 深雪 本間 紀一 野島 甫映  
 芦刈 素子 山本 豊治 黒金 浜子 安田 菊子  
 久田 芳子 名古屋 佐藤 精子 花沢 良寿  
 久保 一士 中川 護 内田 珠恵 河野 洋平  
 溝手 秀雄 辻見 礼子 仙台 和子 大河原 春彦  
 中川 博子 北村 フサ子 遠藤 好子 東京西 五味 よしえ  
 得能 康子 小池 弘道 荒井 好子 東原 春彦  
 山田 量三 小池 加津美 舟山 重憲 五味 よしえ  
 山崎 京子 北島 雅子 砂山 悦子 原口 正紀  
 保森 義夫 小樽 木皿 悦子 森川 守

村上 亮子  
根来 清太郎  
小倉 謙一郎  
長尾 謙一郎  
佐藤 良三  
廣重 草香  
山形 繁弘  
大沼 繁弘  
横濱 勉子  
細野 照子  
細野 照子  
金子 正敏  
明口 明  
普天間 明  
知念 俊勝  
那覇 伊子  
新垣 富子  
親泊 伊子  
親泊 伊子  
宮里 秀樹  
砂川 ひろみ

神 権

阿倍野 イワイ エイチ (教)  
イト サダオ (執)  
ワシ シンジ (祭)  
旭川 遠藤 均 (教)  
新保 守 (執)  
新谷 節雄 (執)  
山根 利和 (ク)  
福岡 比嘉 惟兼 (教)  
佐々木 隆雄 (執)  
高木 良明 (ク)  
廣島 ナリバヤシ コウジ (長)

アオヤギ コウイチ (祭)  
サト フミトシ (執)  
ナカガワ アキラ (祭)  
名古屋 アオヤマ ソウヘイ (祭)  
イケダ シゲミ (執)  
イソムラ マサヨシ (執)  
新潟 福島 克明 (教)  
五十嵐 隆男 (教)  
金井 勝郎 (執)  
西の宮 池 正爾 (教)  
北川 政吉 (祭)  
田辺 豊治 (教)

甲府 サカモト ミチオ (執)  
ナイト マサツグ (ク)  
京都 キムラ ヨウジ (執)  
クサノ ノブユキ (ク)  
コサキ モトキヨ (長)  
高良 慎清 (長)  
松本

「福音をわけ与える」

宣教師計画がひじょうに増大拡張されたことは、過去二十年におけるわが教会の最もいちじるしい進歩のあとを示すものの一つであります。これまで宣教師の働らきは、この宣教師計画といふ教会のプログラムの中にあるとくべつな方面に任務を与えられた人々にかざられていたのでありますが、今為されていくる増大された努力とともに宣教師の責任についての新しく考え方が生じました。「福音をわけ与える」とくべつな計画によって新しい機会が目の前に広くひらけました。わが教会の会員は一人のこらず今宣教師の働らきに従事するよう召されていきます。

わが教会の大管長会は、いたるところの教会員に対して、この新しく考え出された福音宣伝計画に加わるよう熱心につたえておいでになります。この計画の中には、私たちの家庭を福音の説教をすることのできる中心として利用することがふくまれています。大ていの教会には、グループでその家へくるように招き、そこで専任宣教師が福音を説くのを聞いてもらえる非教会員の友だちや隣人があります。この宣教師としての働らきをするときの第一歩は、支部長と連絡をとって、自

分の家へ招きたい友だちがあると支部長に話すことであります。すると支部長は、協力をしたいという人々について宣教師たちに知らせるであります。

友だちや隣人を招くまえに、宣教師たちは集りに協力して下さる各家族と連絡をとって集りの運びかたをくわしくお話しします。いつもたずねている「あなたはモルモン教会についてごぞんじですか」、「もっと知りたいと思いいないませんか」という質問をしたあとでもっと知りたいと言った人々を私たちの家へ招くのです。教会員の宣教師としての責任はこれで終わったわけではありません。私たちは多くは職場にいても旅に出ていても、教会員でない人々に逢うことが度々ありますから、その人々ももっとモルモン教会のことを知りたいたいという意志をもっていることを知る質問をする機会をねらうべきであります。もしもこの人々がモルモン教会のことを知りたいたいと思っていることがわかったなら、この人々の所と名前をきいてそれをその地方で伝道をしている宣教師たちに知らせるべきであります。

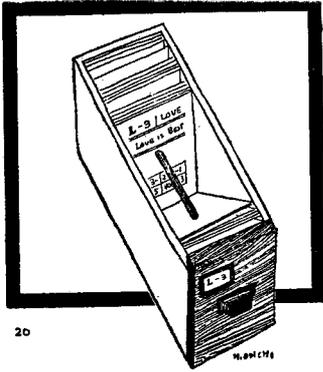
私たちは、友だちや隣人に福音をわけ与えることによってこれらの人々の生活を豊かにするよい機会を失なってはなりません。福音

は、私たちが自分に与えられた福音をほかの人々にもわけ与えるというつもりで与えられています。ふつうの物はわけ与えるときにへる一方ですが、福音の場合は反対にいよいよ豊かになります。私たちは福音をわけ与えることによつていよいよ豊かになり、新しく福音を受け入れた人々も、福音を受け入れることによつてその人々の生活がおなじように豊かになります。

ほかの人々に福音をわけ与える機会は無数にあります。バスの中でも、汽車の中でも、飛行機の中でも、工場の中でも、ゴルフ場の中でも、ホテルの広間の中でも、クラブの中でも、さては種をまいている裏庭のむこうでもいたるところにその機会があるでしょう。福音をわけ与えようところから努めている人々は、生涯のうちで最も感激にうたれる経験をおぼわうことができます。私たちは善をするように影響を与えた人々によつて、私たちの歴史にあとをのこすのであります。主はこのことを考えて「而して汝らも生涯今の代の人々に向けて悔改めを叫ぶことに力を尽し、唯一人の人たりともわれに導かば、わが

御父の国において彼とともに汝らの悦びいかにばかりぞや」と仰せになりました(教義と聖約十八〇十五参照)。

# 系図の道しるべ



20

## 家伝史料

現今の戸籍謄本に較べてもよいと思われるものに宗門帳（宗旨帳）と言うものがあります。けれども現代では殆んど残っていないので家庭に保存されている系図関係の史料は過去帳が最もよいのですがこれはお寺に在る過去帳とは別に内地の旧家であれば今までも保存してある筈ですが、新しく分家した家庭ではなく、本家に就てさがし求めればよろしく、幸運にも古い過去帳を同族、親類をたどってさがし求めて行けば、百姓・町人であっても寛永時代（今から三三〇年前）頃までは上って行けるといわれています。

この他、これらの旧家に保存されている左に列挙したような書類が若し見つければ非常に重要な手掛りとなることがあります。

- 誕生、結婚、葬儀、元服、還暦、喜寿（七十七才）、米寿（八十八才）、祝の記録
- 触書、往復文書、帳簿、土地に関する書類、金銭貸借書
- 藩主、名門より下賜品、辞令類
- 又、武士、神主、医師というような家や、郷士庄屋、名主などと言う家には先祖に関する言伝えや色々な古い書類の写しや系図を有している家が少なくない。

これらの系図であっても立派に表装された系図は田舎廻りの偽系図の作者などに金を出して作って貰ったインチキなものが多く、粗末な簡単な物の方が本物である場合が多いと言われています。

### 二月十七日（日）祝福の宵

- 一、開会の行事
- 二、聖句朗読
- 三、歌（讚美歌より三、四曲）
- 四、話 ①アブラハム、イサク及びヤコブの祝福

### ④祝福師について

- 五、系図の作業
- 系図（ベディグリー・チャート）の記入
- 六、歌（一曲）
- 七、閉会の行事
- 仕方の参考
- 二、は、すべて心の歌は、われの悦びなり。然り、義しき者の歌はわれに対する祈りなり。彼らの頭に祝福を与えてその応えとなさん。教義と聖約二十五章十二節に基づいて
- 三番で賛美歌を幾つか歌いましょう。
- 四の④家督権の祝福三十五章参照
- 四の④教百二十四章九二・九三。教百七章四〇
- ⑤五七及びシオン山の救い手たち十五章参

照。

話は二つで十分内でまとめるようにした方がよいと思います。

五はペディグリー・チャートの用意をしておいて簡単な幾つかの正しい記入の仕方を説明して下さい。特に埋葬地(年月日)の火葬と土葬の違いについて正しく理解出来るように説明して下さい。霊的な雰囲気の中で讃美と祝福の背をお菓子を食べながら過したら素晴らしい憩いのひと時となるでしょう。

三月十七日(日)リメンバー・ナイト

このプログラムは記念の書と思い出の語り合いの集いです。記念の書についてまだ知らない人が多数いるようですので説明してあげてください。その時ガリ刷りでわかりよく刷った後の時に大いに役立つでしょう。もし支部に記念の書を持っている人がいたら是非みせてもらうようにしましょう。

日本系図探求要覧二章の記念の書に記すべき幾つかの項目を撰択して(例えば、私の生まれた家、幼少時の健康状態)かかげたものの中から各自二分ぐらいの話をしてもらってもよいし、又俳句の季題を与えて一、二句皆んなで作る合い、読み合って日付と今日の集いのことを簡単に記し、記念の書に添えたら

面白いでしょう。歌もいろいろ撰択して、ふるさと、や、春の小川、などを思い出したらなつかしいでしょう。

司会者は司会の言葉を用意してまごつかな

いようにしてください。プログラムの成功は現在の一こま一こまに全力を尽くすこと、すなわち準備と祈りにあります。

委員の手引

支部系図委員会 四半期報告書

伝道部系図委員会

第\_\_\_\_\_四半期報告

支部名 \_\_\_\_\_

地方部名 \_\_\_\_\_

- 支部会員数 ..... \_\_\_\_\_
- 支部系図委員会会員数 ..... \_\_\_\_\_
- 支部系図委員会開催数 ..... \_\_\_\_\_
- 支部内に於ける系図の集会開催数 ..... \_\_\_\_\_
- 最初の訪問の数 ..... \_\_\_\_\_
- 再訪問の数 ..... \_\_\_\_\_
- 家庭ウオーク・ナイトの数 ..... \_\_\_\_\_
- 作成された系図の数 ..... \_\_\_\_\_
- 作成された家族の記録の数 ..... \_\_\_\_\_
- 作成された個人の記録の数 ..... \_\_\_\_\_

支部系図委員長 \_\_\_\_\_

住所 \_\_\_\_\_

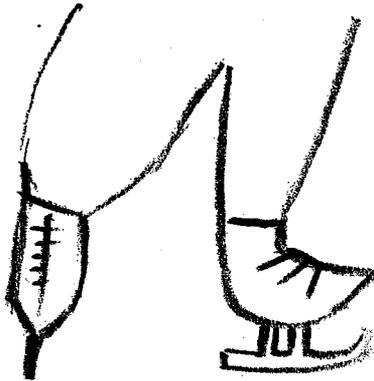
支部系図委員会書記 \_\_\_\_\_

住所 \_\_\_\_\_

4月 7月 10月 1月の各月 10日迄に写一部を

伝道本部系図委員長宛に送付され度い。

# 子供の 日曜学校 ガイド



例年になく寒い冬を迎えています。子供たちの集り方はいかがですか、寒い日曜日の朝、準備も大変でしょうが、一人でも多くの子供たちに福音に親しんでもらえるようがんばりましょう。

子供の日曜学校新年度は四月からですが、先きに知らせてありますテキストを必ず購入して使用していただきますようお願いいたします。本部に残っております部数は非常に少ないです。すからなるべく早く申し込まれますように。資料は、先月の続き。

## 緑と教会（一月号続き）

信ちゃんが大きな声で「お早よう」と声をかけると、一せいに「信ちゃん、お早よう」ともどってきた。信ちゃんは、どこに行っても人気があるんだなと思った。一人の若いお姉さんがニコニコ笑いながら近づいてきた。信ちゃんは、「先生、僕のお友達で達ちゃん健ちゃん、五郎ちゃんです」と紹介してくれた。僕達はそろって「お早ようございます」と頭をさげた。若いお姉さんは「お早ようございます。ほんとうに、よくいらっしやいます。話を話してくれましたわ、仲良しなんです。ネ、私の名前は須田って、います。どうぞよろしくネ、サア、そろそろ学校が始まりますから、この辺にすわってくださいナ。」

須田先生は、大学生で英語を勉強しているんだと信ちゃんが教えてくれた。他にもお姉さんが数人いそがしそうに働いていた。オル

ガンがなり出すと、急に皆んな席につき静かになった。オルガンは学校で聞く時と違う曲をひいているみたい。信ちゃんがきれいなブルーの表紙の歌の本を借りてきてくれた。さっきの須田先生がたって、「皆さん、お早ようございます。一週間って、すぐ終ってしまいましたネ、今朝も元気そうな皆さんとこうしてお逢いすることができて、先生がたは喜んでます。朝のきれいな空気がこのお部屋にいっぱいたちこめていますネ、では大きな声で、口をよーくあけて讚美歌をうたって、日曜学校を始めましょう」とおっしゃった。

もう一人のお姉さんがたって「讚美歌一番をうたいましょう。須田先生がおっしゃったことをよく守って元気に歌いましょうネ」

信ちゃんも、他の人達も元気に大きな口をあけてうたっているけど、僕達は始めての歌なのでチットもわからない。仕方がないので口だけパクパク動かしていた。歌が終ると、「お祈りするんだヨ、目をつぶって手をこうゆうふう」に信ちゃんのさしず通り僕達も同じように目をつぶって手をくんだ。

「天にいらっしやいますお父さま

今日も、こんなにたくさんのお友達と一緒に、イエス様のことを勉強できますことを感謝します。

どうぞよくわかりますようにお守りください。全部、イエス・キリストの御名を通してお祈りしました。アーメン」

皆んな口をそろえて「アーメン」といったようだが僕はまだ一生懸命に目をつぶって

いた、信ちゃんが「もう目はあいていいんだヨ」皆さん、今日は三人の新しいお友達を御紹介します。右から田中達雄さん、山本健二さん、そして酒井五郎さん達です。仲良くしましょうヨネ、皆さん三年生で宮崎信一さんと同じクラスだそうです。そして野球がとつても上手だそうですよ、今度のピクニックにでも数えてもらいましょネ」。

僕達は、こんなに多勢の人の前で立っているのは始めてだし、おまけに野球が上手なんていわれると、とてもはずかしくなってしまう。隣りの健ちゃんの顔も、トマトまではいかないけれど赤くなってきた。ほんとうに耳までカッカッと熱かったんだもの。どうやら無事に終り席にもどった時にはホットした。

次に先生方を紹介してくれた。クラスは三つあるらしい。渡辺先生、高橋先生、阿部先生、荒川先生が指揮をなされた先生、オルガンは早川先生、僕たちは三年生だから中級になって高橋先生が教えてくださるんだって、小学校の先生とはずいぶん違う、信ちゃんのお姉さん位の先生ばかりで、すぐに親しめそうな気がする。黒板にプログラムが書いてあって、それからゆくと、今度は二分半の話である。そんなことなのか、達ちゃんも、健ちゃんも一言もしゃべらない。僕も口をきかないでいよう。一人の五年生位の男の子が前にでてきた。そして悠々と話をはじめた。「坂道を重い荷車をひいたおじさんが、汗をピツピツかきながら、あえぎあえぎ登って

いるので、その人をお友達と一緒に後から押してあげたら、そのおじさんにとても感謝されて、とても良い気持がした。自分が他の人にこうしてもらいたいと思うときは、まず自分からすすんで他の人に親切にしてあげなくてはいけない」と、お話しをしてくれた。とても、いとお話だと思った。そして、その五年生を偉いなと思った。次には練習の歌である。これは僕達ばかりが始めてでなく、皆んな始めてなので安心して歌えた。とても、可愛らしい歌だ。歌の練習が終わると分級するんだそう。各々の部屋の案内があって、皆んな自分のクラスへと分れていった。僕達は信ちゃんと一緒にクラスにはいつていった。高橋先生が、もう一度クラスのお友達に一人一人紹介して下さった。全部で十五名位……僕達三人を合せて十八名、中級となった。前から来ている子のなかには、学校でみたことのあるような子もいた。すぐ仲良しになれそう。でも一人だけ生いきそうな女の子がいた。僕は、あんな、きどり屋は、どうも好きじゃない。ま、ま、い、や、そのうちに仲良しになれるだろうから……今日は別に話をすることもないと思った。教科書が配られた。信ちゃんは自分で持ってきたのを僕にみせてくれることになった。達ちゃんも健ちゃんも教会の借していただく。表紙には「宗教と生活」とむすかしそうな字が並んでいる、この本はどんなことが書いてあるのかしら？

高橋先生は「今日は、テキストを始める前に始めていらっしやった方がおりますから、このクラス、この学校では、どんなことを勉強しているのか、皆さんで復習してみましょ。佐野さん、この学校はどんなことをしていますか？ 新しいお友達に教えてあげてくださいネ」

「ハイ、エート、この学校は、神さまのことを勉強する学校です」。

「そうなんです。佐野さん、どうもありがとうございます。神さまのことを勉強する所です。じゃ、どうして日曜日この学校はあるのでしょうか？ 知っている人？ おぼえている人、ハイッ 誰か」。

「ハイ、先生、それは安息日に、この学校が開かれた方がい、のです」。

「中島さんですネ、本当にどうもありがとうございます。その通りですネ、どうして日曜日に、この学校が開かれた方がいいのでしょうか？ サア考えてみましょネ、月曜日だって、水曜日だって、かまわないんじゃないかしら？」

「先生、それは……あの神さまは六日間働いて七日目に休みましたから……エート、よくいえないア……」。

「高田君ネ、どうもありがとう。そうです。高田君の云う通り、神さまは、とても偉大な力をもった方で皆さんの住んでいるこの地球をお造りになられました」。

「ずつと、ずつと大昔に神さまはこれらのことをなさったのです。黒板に書いてみましょネ。一番最初にお造りになりましたことは、昼と夜、つまり、昼間はあかるいでしょ。光がありますものネ、そして夜は暗くて

電気がなかったら困ってしましますネ、誰れの顔かこの家か、全然みえなかったら、とても不便ですネ、夜のこと、つまりやみ、光とやみをお造りになったのです。第二日目、天と地をお造りになりました。これは空と地、つまり地球を造られたわけですネ、つづいて第三日目に陸と海、そして草や木、地球上で陸の部分と海の部分とに分けられたわけですネ、また、毎年四月頃に咲く桜の花や、ポプラの木や皆さん大好きな芝生、全部神さまがお造りになりました。第四日目は……」高橋先生は、どんどん神さまのお仕事についてお話しをしていらしやる。僕は始めて聞いたこのお話、とても、びっくりした、だって本当にそうなのだろうか？

光とやみ、陸と海、空と地、草や木、ほんとうに、ほんとうに、それを神さまがお造りになられたのかしら、そうだとすれば、神さまって、すごい立派な人に違いない。僕の大好きな緑の木も神さまがお造りになったのか？ 造花は、お母さんが買ってきたのを見たことがあるが、とても本物に似てはいるけど、やっぱり本物の方がずっと、素晴らしい、造花には、変な匂いがあるけど、本物には、お母さんの香水の様な、とてもいい匂いがある。その花を神さまが造れるなんて、すごい力を持っているものだ。達ちゃんも、健ちゃんも脳目をふらずに、じっと聞いています。

皆な先生のいうこと、わかっているのかしら？ 緑の木をどうやって造ったのだろう。

不思議だナア。ととってもとっても。日曜学校って、こんな、僕が今迄知らなかったことを教えてくれる。チョット面白い所だ。こんなお話、家のパパやママ知っているかな、弟にも話して聞かせてあげよう。

そうだ、来週も、また、きてみようかしら？ 今度、くる時は弟もつれてきてあげよう。きつと皆んなとお友達になれるだろう。

来週もこよう！ こよう！とノと。

そうきまつたら、何んだか胸がスートしてきた。ちようど緑の木とお話をしている時のように。



練習の賛美歌 九三番 二二番

三月になると私たちは主の受難をしのび、またその後に来る復活祭を思っています。

今月はその復活祭にそなえて、二曲練習しましょう。

九三番は  $4/2$  拍子です。二分音符の楽譜を見ると、「ゆっくり歌え」なんて言われている様な気がしませんか？ でもこの曲は  $♩$  で速いテンポで歌うのです。

葬送の歌ではなく、よみがえりの歌ですから活気にみちて、しかも堂々と歌いましょう。二段の第一小節と第二小節の間の区切りはミスプリと思われまから区切りの線は消してください。

二二番は大変有名な復活祭の曲です。御存じの方も多いと思いますが、新しく兄弟姉妹になられて知らない方もおられると思いますので、後半の二週で練習しましょう。

この歌では、アレルヤのところ要注意して下さい。一段と二段のアレルヤは全く同じですが、三段、四段はちがいますね。時々音符におかまいなしに全部同じ感じに歌っているのを聞きますが、感じて歌わないで、楽譜通りに歌うようにしてください。これは他の讃美歌を歌う時にも、時々ある間違いです。特

に兄弟たち気をつけましょう。

二二番は九三番より、もっと速いテンポで歌います。

二曲とも喜びに満ちて歌いましょう。

四月 二二九番

子供日曜学校、五十番

子供たちの大好きなおひな祭りの月、三月は、私たち大人にとっても何となく心楽しいものです。

庭の小さな花だんの黒い土から草花の芽が頭を出し始め、桃の花は暖かい春を告げる様にピンクのつぼみを開きます。そんな楽しい庭の歌を練習しましょう。

歌う前に歌詞を黒板に書いて説明してあげたらどうでしょうか。この庭が私たちの心をさしてることと理解させて下さい。横書きの仮名は意味がとりにくいですから、 $6/8$  拍子ですが、二拍子で快活に歌います。

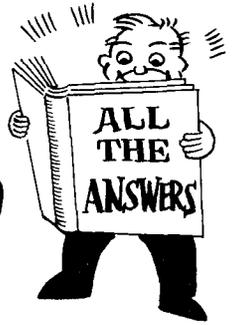
一段二段と五段が似た旋律で、三、四段が少し異なります。こうした同じような旋律がくり返し出て来る曲は早く覚えやすいのですがこの歌の場合は音符と音符の開きが大きいので——時々出て来るミからソに下る場合または三段の四子節目のラドラソミドからラに上る場合——オルガンを使えないクラスでは先

生方がしっかりその音を出してあげないと子供たちはそのまま覚えてしまいますから、あらかじめよく練習しておきましょう。



練習の讚美歌

# MIA Leader



## ファイアサイド会について

最近各支部に於いて色々なファイアサイド会が開かれているのを耳にしますが、本当のファイアサイド会なるものが少いようです。本当のファイアサイド会、なんておかしな言葉ですが、でも、ファイアサイド会が如何なる性質のもので、どのように計画されどこの主催で行われるのか、よくわかっていられしやらない方がいらしやるようですので、以前これについて記したことがあります。が、再び確認したいと思います。特に、各支部の支部長会の方々の認識が薄いようですので、どうぞ、MIAの役員の方々から説明してあげてください。

まずファイアサイド会はMIAの方針にしたがって開催されるということ覚えましょう。標準においては、日曜日の夕刻ある一軒の家庭で開かれ、親しい雰囲気の中で若い人々が自由に参加できる会です。霊的な雰囲気の中に楽しい社交も含まれていて良いわけです。これは、あく迄も標準であって、大きなホールを使用するファイアサイド会もあるし年令別に集うこともあります。もちろん、先輩の方が参加しても一向にかまいません。会の目的は、若い人達に福音の原則を討論

する機会を与え、質問に対して答えを与え、私達の証詞を強める機会を作っているわけです。会の中に演説や音楽などを加えて、活動を通して才能の発達も図っています。また定期的にMIAに参加出来ない人たちのためのもでもあります。求道者の方々が会員と親しくなる良い機会ともなっているはずで、

「知っておかなければならないこと」

一、この会にはMIAの会員だけでなく、すべての人が参加できる。

二、この会の計画や司会はMメン・グリーンナリーやエンサイン・ローレルの直接の働きであり、指導は各グループのクラス・リーダーの指示の下に行うべきである。

三、この会の、すべての計画はMIA会長会の許可が必要であり、また支部長によってファイアサイド会のプログラム、また演説者の認可を受けなければならない。

四、安息日の標準に従いプログラムを準備し一簡潔な、且つ形式ばらない会とすること。  
五、幾つかのグループが参加する時は、司会者を互選する。

六、人数は常時において少ない方がよい。大きい支部では地区や町で分けたり、年令別に会を開くとよい。

七、この会は折りによって開かれ、折りによって閉じられるべきです。

八、軽い飲み物や、食べものを出してもよい九、この会は一時半以上になつてはならない。八時半過ぎにならない方がよい。

十、此の会は、MIA活動の定まれる部分であり、その計画、監督を他の補助組織に委せてはならない。

大体以上のようなことを知って、ファイアサイド会を開いて頂きたいと思ひます。

なお、神権定員会や扶助協会、また日曜学校などが、このような会を開く時は、その会はその会員たちだけのものであり、支部に対して総体的な招待状を出すべきではありません。神権会や扶助協会、日曜学校、系図会はこのような会を、ファイアサイド会とは呼びません。

「ファイアサイド会」とはMIAのみで用いる言葉です。

正しく開かれた、ファイアサイド会は、MIA月間レポートに記載されます。

ファイアサイド会は注意深い監督、賢明な計画及び、協力によつて準備しましょう。

なるべく月に一回以上開かれる方がよいわけです。MIAの中にファイアサイド委員会

を、もうけておくと運営がスムーズに行われることでしょう。(榮子記)

### 三月十四日「特別の夜」

この夜は特別の夜として一般活動の時間となります。しかし、年別クラスに分れますので、いつもの一般活動と少し異なります。つまり各年別クラスに於ける一般活動で、充分に今迄学んで来ましたレッスンを土台として活動していただきたいわけです。

特にMメン・グリーンナーの級においては、去年のテキスト「生活の目標」がバック・ポインとなつて居りますので去年度のレッスンの総仕上げとも言えると思ひます。

亦エンサイン・ローレルにおきましては、新しいところみですが大いに楽しい会として皆さんに好評を持たれることでしょう。

Mメン・グリーンナー「花嫁と花婿の夕べ」

この夜のテーマは「永遠の結婚」(教義と聖約第百三十二章参照)

目的は、末日聖徒の若い兄弟・姉妹が正しい結婚の意義を理解し、この世に於ける、神の王国(家庭)が現実立脚した信仰に支えられていくべきであると言うことへの理解。

提案プログラム

一、結婚行進曲が場内になり出す。(コーラ

スでいよも)

二、ステージの上手は一人の黒い服を着た男が本を手に見れる。

三、次に花婿とベスト・メンがその男と向ひ合い立つ。

四、一段とマーチは高くひびき、ステージ下手より、ブライデス・メイドが現れ、続いて父親と腕を組んだ花嫁が現れる。静かに花婿の隣に並んで立つ。

五、本当の結婚式の司式で言葉が述べられ、指輪が交換される。

六、再び結婚行進曲が場内にひびき、ステージの上の俳優達が客席の方にやって来る。

そして、皆の中に分かれて着席する。

(参考)客席は、あらかじめステージに向い、コゝの字型に椅子を並べておくといでしよう。)

七、ここで司会者が現れ、討論会が始まるわけです。この時の議題は、あらかじめ選んでおくといでしよう。「結婚について」

「永遠の結婚とは」「正しい交際と結婚」

「貴方が考える花嫁・花婿」「こんな人が……」色々あると思ひます。

八、大体の結論が出て来た所で、支部の中で何十年前前に結婚した老夫婦と最近結婚し

た若夫婦を招待し、その方々の小さい感想を述べていただきます。(なるべく夫婦共に教会員であることが望ましい)

九、最後にゲームか、ダンスを計画し、其の夜集ったMメン・グリーナーが楽しい時間を持つように計画する。

以上が提案プログラムですが、この通り行えない支部があれば、適当に会長会と各クラス・リーダーが相談してプログラムを、計画して下さい。支部内のすべての若い人達が、この会に参加できるようによく宣伝して下さい。また或る支部では姉妹達がほとんど男性のいない支部があるかと思えます。その時は宣教師の方に一人の男(司式を行う役)をお願いし、後は、男装で行えばできるのではないのでしょうか。また、どうしても不可能な支部がありましたら、他の小さい劇(結婚に関する)を行ってもかまいません。

提案されたプログラムを見るとおわかりになりますように、ドラマ・スピーチ・ダンス音楽の各クラスの参加があり、合同してプログラムを作製するようになって居ります。

プログラムをよく準備して楽しい会にして下さい。総合的な責任は会長会にあります。

エンサイン・ローレル「キッチン・カーニバル」

何だか変な名前ですね。カーニバル。と言うことは、よく夏になると耳にします。なんだか、ドンチャンドンチャンさわぐような感じを我々日本人は持たされているようです。

しかし、ここにあげられたキッチン・カーニバルは、エンサイン・ローレルが、はじめはずして、台所でさわぎまわると言うようなことではありません。提案されているプログラムを見ましょう。

提案プログラム

一、(椅子を馬丁型に並べます。)

最初にエンサイン・ローレルによるエプロンのファッション・ショーが行われます。工夫をこらしたものを用意しましょう。例えばタオルで作ったもの、フロシキを利用したもの、ワイシャツのぼろから作ったもの、色々あります。亦布でなくても、そのアイディアをひろうる為に紙によって作製することもできます。特に和紙を用いますと少々手荒く取扱っても破れません。ローレルに負けずにエンサインも作製して下さい。

二、次は台所用品を作った帽子のショウです。籠にスプーンを飾ったり、おなべを工夫したりして帽子を作って見て下さい。

三、ファッション・ショーの後は討論会に入ります。論題は「家庭に於ける男性の仕事と女性の仕事」

四、部屋の真中にコンロを置き、大きなおなべを用意して「コンパなべ」(皆が一品づつの野菜や肉などを持ち寄り、なんでも入れて煮てしまう)や、おでん・チャンコなべ・ブタ汁等を作って皆で食べる。

勿論この提案されたプログラムが不可能な支部があれば、会長会とエンサイン・ローレルのクラス・リーダーとよく話し合って他のプログラムを計画して下さい。

キッチン・カーニバルの目的は、お互の協力。と言うことです。これを含んだプログラムなら良いわけです。そして一緒に食事をする事によって友情を深めようと言うわけですから、何か食事を作る様にして下さい。

同じ釜の飯を食う。と親交を増すと言われております。しかし、エンサイン・ローレルのクラスですから、各クラス・リーダーが必ずついで会を進めて下さい。火を使用するので、充分注意して下さい。エンサイン・ロー

レルのクラスから何人か応援を頼むと良いでしょう。

三月二十八日 年令別クラス（一般活動）

Mメン・グリーンナー 活動計画（其の一）

Mメン・グリーンナーのクラスに於いて活動計画は三回あります。この三回のうちの一つのことを成しとげるように、一環した活動を計画して下さい。エンサイン・ローレルの活動計画と同様取り上げる問題は何でも良いと思いますが、できれば何か支部内で役に立つことを考えて下さい。困っている兄弟、姉妹の為の援助であるとか、労働宣教師への協力とか、教会堂を持っている支部では、修理や附属品の整備等、また、色々なものを皆で協力して作製し、集めて最後の活動計画の日に孤児院や養老院を訪問するとか、私たちの周囲を見ると、何かもっと沢山あることでしょう。また、これらの他に、ラジオ、テレビスタジオの見学、プラネタリウムでの空の旅などでも良いですし、講師を招待して、何か有意義な講演を聴くのも良いでしょう。この夜に計画を立てるのも良いですが、ただ、ばく然と皆の意見を集めて時間を過すようであればレッスンの時間が無駄に終わってしまますから、一ヶ月前位いから、皆の希望や意見を

を紙に書いて頂いて、何をやりたいか、あらかじめ、クラスリーダーと会長会とで皆の意見をまとめておくと良いでしょう。そして、此の夜にはもっと具体的な計画に入る方が良いでしょうし、あるいは、すでに活動を開始する方が良いでしょう。各地によって色々条件が違ふと思います。各々が集う人たちによって計画して下さい。

#### ☆お知らせ☆

◎北部極東伝道部MIA事務局が左記の住所に出来ました。今後、MIAについての御質問、御意見、御問い合わせ、月間MIAレポートは、MIA事務局の方へお寄せ下さい。

東京都練馬区春日町一丁目二六一〇

（佐藤襄二方）

末日聖徒イエス・キリスト教会

北部極東伝道部MIA事務局

◎三日号より「私たちのMIA」と言う頁を作ります。これは各支部の皆さまの頁です。毎月一つの支部を選び、MIAの発表を誌上でやって頂くわけです。私達伝道部の者は各支部のMIA指導者の方々と親しくお話し合をしたのですが、なかなか訪問出来ません。そこで、この頁を通して皆さんのMIAの様

子を知らせて頂きたいと思つて居ります。同時に他の支部の多くの兄弟、姉妹にも知らせる良いチャンスになると思います。その頁で、自分の支部の困っている点もせて頂いて、出来るだけ、良い方向に進んで行く様に微力ながら私共もお手伝いさせて頂きます。また、他の支部の兄弟、姉妹とのペンフレンド希望者の住所、氏名ものせることにします

◎ペンフレンド御希望の方はMIA事務局

に、住所、氏名、趣味、年令、職業、所属支部名を書いて御送り下さい。特に所属支部名が書いてないものは無効といたします。

エンサイン・ローレル

エンサイン・ローレルの手引書を参照して下さい。

ローレルクラスでは、此の夜はお母様方を招待しています。なるべく沢山の皆様方が集う様に早くから御都合を確かめておいて下さい。クラスリーダーは、ローレルのお母様方に御挨拶をかねて、日頃どの様にローレルが勉強し、活動しているか紹介して下さい。



ペギー・ヒュイシ・アンダーセン姉妹

つい数ヶ月前のことであり、  
が、ゴールドン・B・ヒンクレイ使  
徒は、東京で集まった日本の聖徒  
たちにある興味のあることをお言  
いになりました。それは次のよう  
なことばであります。

「私は任務をおびて旅行をして  
いないときは、毎週ほかの十二使  
徒会々員と一しょにマッケイ大管  
長と神殿の中で集まりをする。そ  
のとき私たちは、わが予言者が導  
きと靈感を与えたもうよう心をか  
たむけて主に祈るのを耳にして感  
激をおぼえる」。

私たちが一しょに伝道部をまわ  
って旅行していました間にも、ヒ  
ンクレイ長老はいつもお祈りのこ  
とと、長老が主なる神さまに助け  
と導きをねがっておいでになるこ  
とを話していらつしやいまし  
た。いつも祈りをして私たちの父  
なる神さまにおねがいをするとい  
うこのことは、私たち教会員がな  
らわなければならないほんとうに  
立派な模範ではありませんか。

近ごろリー使徒は、今日教会員  
の導きになっている「神から来る

光である靈感」についてお話しになりました。そして、この「神から  
来る光である靈感」の意味がわかるためには「私たちの評議員会で  
マッケイ大管長とともにひざまづき、ともにひざまづく評議員の一  
人のこらすが感激にふるえる祈りを、熱意をこめて『天にまします  
父なる神よ、あなたと私たちとの間に親しい交わりのできる路をつ  
ねに開きたまえ』と大管長がなさるのを聞きさえすればよいので  
す」とお言いになりました。キリスト御自身でさえ父なる神にお祈  
りになって、ほんとうの祈りを私たちに教えて下さいました。

私自身のことを申しますと、私は自分の生活の中で祈りの力を経  
験したことを感謝しております。また私は、主なる神さまはいつで  
も喜んで私を助けて下さいますという真理がよくわかっていますと  
あかしができることを感謝しております。

先月私は聖典を読んで学ぶことについて記事を書きましたが、私  
が大切におぼえているすぐれた聖句の多くはこの大きな特権―父な  
る神との交わり―について言っております。

「教義と聖約」の第六十八章の二十八節で主なる神さまは「また  
両親はその子供たちに祈ることと、主の前に正しく歩むことを教  
えざるべからず」と仰せになっていきます。この短かい聖句によって  
私が考えさせられることが二つあります。もしも私たちが、自分の  
子供に祈ることを教えるはずであるなら、祈るということはほん  
とうに福音の教えの中で大それたいせつな部分であります。主なる神  
さまが私たちに、おきな児のようにならなければ神の國へ入ること  
はできないと言っているからであります。おきな児くらい  
大きな信仰をもっている者はなく、またおきな児がその信仰をあら  
わす一番簡単な方法の一つは祈ることでありました。

またもしも私たちが自分の子供に、主の前に正しく歩むことを教  
えるはずであるなら、これをするために私の知っている一番よい方

法は子供たちに模範を示すことであります。ここでもまた、私たちは子供たちの生活を導びく方法について、主なる神さまが下さる靈感を求めなくてはなりません。

主なる神さまに祈り求めることに、大きすぎるとか小さすぎるとかということはありません。ほんとうに、主なる神さまは聖典を通して、私たちの必要なものは私たちのねがわぬ前にこれを知っている、しかしそれでも祈りという路を使わせたい、祈ることによって私たちは神によりたのむことを示し、また神の力をみとめることを示すのであるとお言いになっています。

この前ヒンクレイ姉妹が東京へいらっしやいましたとき、ルーズベルト大統領夫人エレノア・ルーズベルトの書いたものを読んでいるとおっしゃいました。ルーズベルト夫人はひじょうに聰明な方で政治教育都市問題などについての講演や著述で有高いお方でありました。あるとき夫人の崇拜者から、祈りを信じなさいますかと聞かれたとき「はい、私は祈りを信じます。しかし、私個人のための祈りを信じているのはございません。私たちは国家の平安、一國の福祉などのような全般におよぶことのために祈ることができると私は信じています。しかし私は、特殊なことのための祈りを信じないのでございます」と答えました。あのような偉大な女性であるのにこれはまたなんという悲しい考え方でしょう！これにひきかえ、特殊なことのために祈る個人の祈りを聞いて答えて下さる、具体的な神さまを私たちが知っていることは何と申しあわせてございましょう。実際、モルモン経に誌してある予言者アミュレクは、多くのことについて祈るようひじょうにはつきり知らせています。

「それであるから私の兄弟らよ、ねがわくはあなたたちが悔改めを生ずる信仰を起こし、神が自分たちを憐みたまうよう、神の御名によって祈り始めることを神が許したまわんことを。」

「神は人を救う大能を具えたもうちから、神に憐みを求めよ。

「へり下ってたえず神に祈れ。牧場にいる時は、あなたたちの家畜の群について神に祈れ。家にいる時はあなたたちの家族全体について朝も昼も晩も神に祈れ。あなたたちの敵の力を防ぐことができるように神に祈れ。一切の義しいことに敵対する悪魔を防ぐことができるように神に祈れ。あなたたちの田畑の収穫が豊かであるようにその作物について神に祈れ、牧場にあるあなたたちの家畜がふえるように祈れ。」

「こればかりではない、あなたたちが一人で部屋にいるときも、秘密の所にいるときも、また野にいるときも心にあることをうち明けて祈れ。声をあげて主に祈らない時でも、自分の為また自分のまわりの人々の為を思つてたえず心の中で主に祈れ」アルマ書三十四〇七—二十七。

今の世の中でも、私たちは特殊なことに對して神に祈り、それから私たちの祈りに對する答えが實際にあらわれるように生活をし努力をしなければならぬと、私たちの子供や私たち自身に教えることができます。主なる神さまは、好意を以つて社会全体を祝福しようとしきりに望んでいらっしやると全く同様に、おさない子供が日曜学校で上手に話をするができるように助けてやろうとしきりに望んでいらっしやいます。主なる神さまは、繁栄と成功とを求め全支部の曠願に答えて下さると全く同じように、一人の年若い學生が授業中の問題をとく助けをして下さいとのぞんでいる求めに応じて答えて下さるにちがいません。主なる神さまは、喜んで一國の民を守って下さると同じように喜んで一人の人を守って下さるにちがいません。

改宗者も会員も同じように、宣教師のプログラムの真先きの部分が何であるかを知っています。福音の真理を研究する者は誰でも、

宣教師から天にまします神に祈って下さいと言われます。また、その時一般的のことを祈り求めないで、ひじょうに特殊なこと、自分の個人のこと——この教会がまことの神の教会であることを心の底からあかしができるように祈りなさいと教えられます。そうすれば、主なる神さまはこの特殊な祈りに答えて下さって、聖霊が或る特殊なこと——イエス・キリストの教会がまことの教会であることのおかしをして下さいます。

宗教上の著作で有名なアメリカ人作家ノルマン・ヴィンセント・ピールは、私たちを教える実際の経験を述べています。

「近ごろあった話である。ある大都市の近郊に聰明で金があつて人気のある一人の若い夫人が住んでいた。彼女は世界の状態を心配している自身に気づいたが、それについて自分に何ができるか知らずと思ひやんでいた。とうとう、彼女は人が普通やりそうもないことをやった。彼女は隣人のところへたずねて行って「メアリ、あなた笑いたければ笑っていいわ。世界のために祈りをするから、私と二人だけ月に一度集まってくれないか？どう？」と言った。彼女の友だちはこれをきいてびっくりすると同時にまじめな顔をして彼女を見つめた。そして「一週一度にしましょうよ」と答えた。

そこで、この二人は集まることにしたが、まもなくこの二人にはほかの者たちも加わった。ところがある日、一人の女の子が「世界のために祈るのもいいけれど、何か個人的なことも祈れたらどうか知ら。私とジムとは今問題があるの」と言った。それから、彼女は自分の結婚のために祈る時間が与えられないか知らとたずねた。

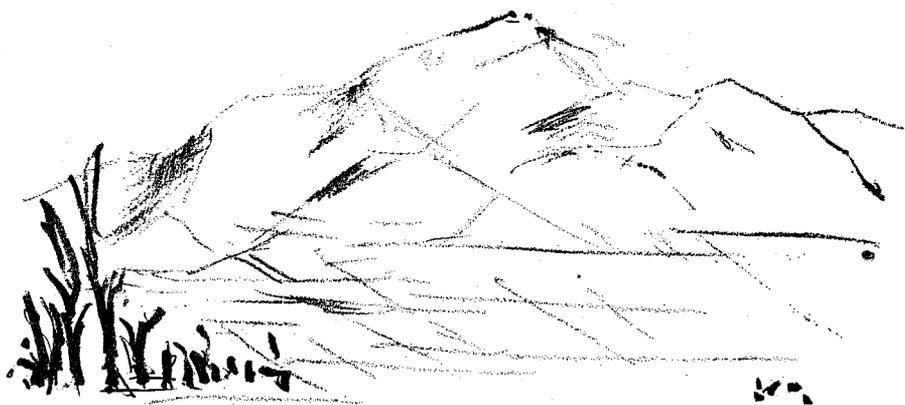
一しよになつて祈るといふことは、すでにこれらの女性を相互の信頼、尊敬、愛ができる高い水準にまでひきあげていた。さらに彼女たちは、世界を変えることについて多くのことができる前に、自

分自身を変えなくてはならない者が自分たちの中にあることがわかり始めていた。彼女たちは、友だちの結婚問題について祈るときに自分たちの中のある者がそれまでに持っていなかった高い標準を自分たちが置いていることに気づいた。それから、彼女たちの中の夫でこのグループに加わる者も出てきた。そして少しずつ、この祈りにさされた小さな団体の影響は全社会に滲透し始めていた。

主なる神さまは、力と助けと導きをお与え下さいと純真に祈る人々を通して喜んでお働らきになります。このような人はかならず力と助けと導きを受けるにちがひありません。ある人が言いました。

「私たちは祈るとき、神さまはこの祈りにこたえて下さらなければならぬのだと思つて祈り、祈り終つたらこの祈りをきいてもらう責任は自分にあると思つて一生けんめい働らけ」と。これこそ、私があなたがたに実行していただきたいと思つていることであります。ことばをかえて言えば、あなたがたが主なる神さまを信頼し、祈りを通じて神に求め、祈り終つたら祈りのこたえを得るよう福音の律法を忠実に守り行なうことであります。

私は、神のみたまがあなたがた立派な日本の聖徒たちと共にましまして、イエス・キリストの福音を信ずるために、あなたがたの生活に起ころうとしている多くのすばらしい変化にあなたがたが順応できるように助けをお与え下さいと毎日祈つております。また私は、今あなたがたと共に暮らすことのできるかがやかしい特権を下さったことを神さまに感謝しております。あなたがたが必要とするときにはいつでも主なる神さまがそこにいらっしやることをお忘れにならないよう、神さまにお祈りいたします。



母親ルシイ・マック・スミスの語る

## ジヨセフ・スミスの生涯 (五)

### 第七章 ソロモン・マック

私の一番下の弟のソロモンは今も住んでいるニューハムプシャーのギルサムで生れギルサムで結婚をし、もう大分としをとっていますが一年に二回商用で行かねばならないポストンより遠くへ一度も行ったことのない男です。ソロモンはこの岩だらけの地方に畑をたがやし羊や牛や馬を飼って、それらを山地にふやしてまいりました。彼はすくなくとも二十年間、人からギルサムの「キャプテン・ソロモン・マック」と言われておりますが、まだたっしやで自分のことは自分で人さまに話すことができずし、私がおもに話さなくてはならないのは、今生きている人たちよりはもうこの世にいない人たちのことでありますから、私はソロモンのことはこれだけにいたしましょう。彼はこれまでどの人とも平和にくらしてまいりましたから、幸福にその生涯を閉じるように私は祈っております。

私はこれまで、私をのぞいて父かたの家族の歴史をのこらず簡単にしるしてまいりました。私がこのようにしてまいったのは、今や私と私の一番下の弟をのこしてみなこの世を去ってしまいましたから、私の肩にかかっている責任をこの際果したいと思ったからであります。そして、私のおきな友だちともめつたに逢つたことがありませんので、私は「私の若いときの友よ、今あなたたちはどこにいる」と叫ばずにはいられません。すると墓が答えます。「彼らはこ

こにいる」と。この人たちは名前だけしかのこっていません。しかし、私というものをなかにして「死んでしまった人たちの真実の姿がそのまま伝えられる」のであります。

## 第八章 ルシイ・マックの若いころ——

### ジョセフ・スミス（初代）との結婚

さて、いよいよ私の生涯をこれからお話しいたしましょう。私の生れた所はニューハンプシャー州チャシャー郡ギルサムの町で、時は千七百七十六年七月の八日でありました。

私が八才になりましたとき、母がはげしい病の発作におそわれました。そして体がひじょうに衰えましたので、母の友だちはみなとてもよくなる見込みがないと思いました。母はこの病気のうちに子供たちをまくらべによびよせ、母がいつも子供たちに言っている「神さまをおそれやまって正しい生活をしなさい」という教えをかならず忘れてはいけないうと訓してから、私を兄のステイヴンにわたして、この子を自分の子供だと思ってそだてておくれとたのんでそれから一人一人に最後のわかれを告げました。

この時兄のステイヴンはその通りすると母に約束をしました。が、その後まもなく母が健康を回復したのでその必要はなくなりました。それで私は姉のロヴィザが結婚するまで父の家でくらししました。ロヴィザが結婚してからしばらくたって、私はサウス・ハドレーに住んでいたロヴィザのところを訪ねました。そして六ヶ月ほど滞在してから両親のもとへ帰り、もう一人の姉のロヴィナが亡くなるまでギルサムで両親と一しょにくらしました。ロヴィナが亡くなって間もなく、ヴァーモント州タンブリッジに住んでいた兄のス

ティヴンが父のところへやってまいりまして、ぜひ私を自分の家へつれて行くと言いはりましたので両親も兄の言うことをききました。姉のロヴィナが亡くなったという悲しい出来事が私の健康を虫ばみ、私の体質に重大な害を与えようとしていましたので、両親は私を兄のところへつれて行かせたら、私の気がかわって私のためにもなるにちがいないと思つたのであります。それは、当時私が物思いに沈みゆううつであつて、今思い返すと、生命なんかあつても何にもならないと度々考えていたからでした。

このように私が心を痛めていた最中に、私は牧師さんが教壇からいつも熱心に説いているのを聞いたこと、すなわち「このころの変化」を得たいときめました。

この「このころの変化」を得るために私はたくさん時間をかけて聖書を読みお祈りもしましたが、「このころの変化」を得たいとひじょうに心を痛めているにもかかわらず、私の物思いの中にいつも別の考えが入ってくるのです。それは、もしも私がどの教会にも加わらずにいたなら、教会に属している人たちはみな私がこの世の物を追い求めてゐる者だと言ふにちがいないし、もしも私がちがつた教派の一つに加わつたなら、残りの教会の人たちはみな私がちがつたにいているといふにちがいないといふことでした。私が今入つてゐる教会のほかには私が正しいと言つてくれる教会は一つもないにちがいない。ところが、どの教会の会員もお互いに自分の教会が正しいとあかしをしているので、今のように昔あつた本當のキリストの教会とみな似ても似つかない教会になつてゐるとき、どれが本當の教会だとしてきめることができるでしょう。私はその当時ほんとうにこのように考えたのであります。

私はタンブリッジに滞在しているうちにジョセフ・スミスという青年と知りあいになりました。私は将来彼と結婚することになったのでありますが、私は兄の家に一年間いてそれから父母のところへ帰りました。ところが間もなく兄が私のあとを追っかけてやってきて、どうしても兄と一しよに戻れと強く申しましたので私もそうすることにきめました。そして翌年の一月、スミス青年と結婚するまで兄のところにおりました。

(註。ルシイとジョセフは千七百九十六年一月二十四日ヴァーモント州タンブリッジで結婚した。その時ルシイは十九才であつた。)

## 第九章 マジエットとステイーヴン、ルシイに結婚祝いとして千ドルを贈る

私はジョセフ・スミス(初代)と結婚をして間もなく、夫とつれだって両親のところへ会いにまいりました。ちょうどこの旅行にでかけようとしていたとき、私の兄のステイーヴンとその協同事業者であつたマジエットが私たちのおわかれについて二言三言ことばをかわしておりましたが、会話はやがて私たちに贈る結婚祝いの方へむいてまいりました。

「ところで、ルシイは人にきかれてもはずかしくないお祝いをされるべきだね。僕は君がルシイにやると同じだけやるがどうだね」とマジエット氏が言いました。すると兄が「よしきた。僕は現金で五百ドルやろう」と言いますと、マジエット氏は「よし、僕も五百ドルやろう」ということになりました。

そこで二人して千ドルの銀行小切手を書いて私に結婚の贈りもの

としました。しかし私は、世帯道具を買うために充分なお金をほかに手もとにもってしまいましたので、この小切手は別にとっておきました。

私たちは両親のところを訪ねてからタンブリッジへ帰ってきましたが、私の夫がそこはかなり大きな農場をもっていましたので、私たちはそこにおちついて土地をたがやすことを始めました。そして私たちは生活のために耕作をしながらそこに約六年の年月をすごしました。

千八百二年に、私たちはタンブリッジの農場を人に貸してランドルフという町へ移り、そこで店を開いて商売を始めました。この町へ来るまでに、私たちはアルヴィンとハイラムの二人の息子をもうけました。

(註。アルヴィンは千七百九十八年二月十一日に、ハイラムは千八百年の二月九日に、共にタンブリッジで生れた。)

## 第十章 ランドルフで病床につく

私たちがランドルフへ移って六ヶ月たつたに、私は重い感冒にかかりそれから咳がひどくなりました。この病状を軽くするためにあらゆる手当をつきましたが何の効きもありませんでした。消耗性の熱が少しも下らず、それがために今は命もあぶなくなつて、かかりの医者は私の病気を不治の肺病であると宣言しました。私の病氣中、母は自分の苦勞をすこしもいとわず私をなぐさめ、ひじょうに心配してみとりをししてくれましたが、それでも私はますます衰弱して、とうとう靴下をはかなくては一足も床につけることができないほどに体が弱くなり、私の病室では誰も小声で物

を言うほかゆるされなくなりました。

私の病態がこのようであったときに、あるメソジストの説教師が私に会いにまいりました。この男は戸口のところへ来ますと、いつもやるようにコツコツとノックをいたしました。ところがこの音がとても私の神経にさわりましたので、もとのように神経がしずまっでしまつてしまつて長い間かかりました。母が身ぶりですの男に椅子にかけるようにすすめ、それから私の病気が重いことをその男の耳にささやきましたので、その男は私にいろいろの問いをかけることをやめました。そして、しばらく私の部屋におりましたが、椅子にこしをかけている間に私の回復がおぼつかないことを深くころに考へている様子でした。そのうちに彼は、私の死ぬことについて私とひじょうに話をしたいという様子を示しました。

その説教師がこのような風に考えこんでこしをかけているとき、私は死の用意ができているかときかれるのではないかと頭の中で考へ、彼に話しかけられるのをこわがっていました。というのは、その時私はキリストの福音を知っていませんでした、またその上に、私と救い主との間には私がよく越えない暗くてさびしい深い淵があるように見えたので、死ぬというようなおそろしいことの用意ができているとは考えなかつたからであります。

私は目を一しようけんめい開こうとしていたと思ひました。そして、そうすることによつて私はすぐ前にある暗黒のむこうにかすかな光のあるのを見とめることができました。

私がこのようにして死ということを考えているとき、私に会いにきたその説教師は私のところを出て行きましたが、まもなく夫が私の側へきて私の手をとり「おおルシヤ、ルシヤ、お前は死ぬに

ちがいない。医者には見はなされたし、みんなお前が死ぬと言つてるんだ」と言つてなげきました。

そのとき私は主なる神さまを見あげて、どうか私が子供たちを育てあげ、また夫をなぐさめることができるように私の命をお助け下さいと一しようけんめいおねがいをいたしました。その夜私のころは一晩中乱れに乱れて、天界のことを考へるかと思うと、また子供たちのことなどこの世のことを考へるといふ風でありました。

私はこの夜のうちに、もし神さまが私の命をお助けになりますなら、私は力のかぎり神さまにつかえますと厳肅な誓いをしました。するとまもなく私は或る声が私に話しかけるのをききました。それは「もとめよ、さらば見出さん。叩けよ、さらば開かれん。汝は神を信ず、われもまた信ぜよ」ということばでした。

それから間もなく、母が部屋へ入つてきて私の顔をながめますと「ルシヤ、お前まえよりよくなつたよ」と言うのでした。

私はちょうどそのときことばが出るようになったので「お母さま、私がお母さまと夫と子供たちを慰める者になりますと約束したことばをきくと守るなら、神さまは私の命をお助けになります」とこたえました。それから私は体に力がつき始めて体はどうとうもとの通り健康になつたのでありますが、心の問題になりますとまだなかなか不安と動揺が去りませんでした。そして、私の心は宗教の問題でいつもいっばいでありました。私は体力がつくとすぐに、私に「生命と救いの道」をもつと完全に教える力のある人を一しようけんめいになつて探したのであります。

私はこのようにして体に力がつくやいなや、ひじょうに信仰深いと私が思つていたデーゴン・デーヴィスという人をたずねまし

た。そして、この人は私がとつぜん奇蹟的に病氣から回復したことを知らされてしまったから、私は母から聞いたとおなじ「主はおどろくべきみわざを為したもうた。主の御名をほめたえよ」ということを聞くものと思っていました。ところが、私がその人の家へ着いたときから別れを告げるまでに聞かされたのは「おやまあ、スミス夫人がいらしたよ。手をかしておあげ、急いで火をおこしなさい―部屋を暖くしなさい―茶がまに水を入れて―大きな安楽椅子をもってきておあげ等々」ということだけであります。

この人たちがキリストに関し、または神を敬まうことに關して一言も味わいのあることを出さずに、私の体の安樂さについてよいな心づかいをしてくれたことが私をうんざりさせましたので、私はひじょうに悲しいところと失望とを抱いて家へ帰ってきました。

私は前に主なる神さまと誓いをしたことを守ろうとする心の不安があるので、誰か私の気持ちを理解することができて私の決心を裏行にうつすことができるよう、力と助けを与えてくれる気の合った人のいることを聞いて見つけることができなかつたという目的をもって、方々をたずねてあるきました。ところが、私は次の安息日にあるひじょうに信仰の深い方が長老教会で説教をするということを知りました。そこで私は自分のころの望んでいること―生命のことば―を聞きたいという期待を胸いっぱいにして集り、べまいました。

この牧師が説教を始めたときに、私はその説教の真意と内容とに強く注意をこめました。そして始めから終りまで熱心に聞いてから家へ帰ってきましたが、考えてみるとこの牧師は説教したことの真意がわかってもないし、また正しい判断もしていないことがはっ

きりとわかりましたので、私はころろの中で今はこの地球上に私のもとめている宗教は一つもないのだなと自分自身に言いました。そこで私は自分で聖書をしらべ、イエスとそのお弟子たちを私の道しるべにし、人間が与えることも取ることもできないものを神さまから得るように努めようところにきめました。それにもかかわらず、私は宗教に關して書いてあるものをたくさん読むのはもちろん、宗教に關することはもみな度々聞きました。しかし、私は聖書を生命と救いを与える導きにするつもりで、それから何年となくこの道をたどってまいりましたのであります。

とうとう私は、バプテスマを受けるのが私の為さねばならぬことであると考えまして、私によろこんでバプテスマを施こし、しかもどの教派に加わることも自由にさせてくれる或る牧師を見出し、進んでバプテスマの儀式を受けました。それから後は以前のように、私の長男が二十二才になるまで聖書を読むのをつづけてきました。

(註、これは千八百二十年までと思われる)。

# 扶助協会 レッスン

「神学」—教義と聖約第六十一章

(千九百六十三年三月の最初の集りて)

第四十六課 水の上と地の上面  
テキスト「教義と聖約」第六十一章

目的—末の日の「しるし」の一つが「水の上にある破壊」であるといえ、主なる神は忠実な人々に警告を与えてお守りになることを学ぶ。

「背景」

この前のレッスンで述べたように、予言者ジョセフ・スミスと長老の一行とはインデペンデンスの埠頭からカヌーに乗ってセントルイスへ出発しました。予言者自身はそのことばの中で次のように言っています。

「十人の長老と共にインデペンデンスの埠頭よりカートランドへ向かう。マクイルウェインズバンドに於てフェルプス兄弟は、白屋の示現の中に、破壊者がおそるべき力をもって河水の面を乗り来

るを見たり。他の長老たちはその音を聞きたるも示現は見ざりき。

翌朝、予は祈りの後次の啓示を受けたり。(教会記録歴史第一巻二〇二—二〇三頁、「教義と聖約」第六十一章参照)。

この一行の中の長老たちは、河水の危険なためと、ダブルユ・W・フェルプス兄弟の示現に示された河の面にある悪魔のおそるべき力と、大きな音のためにおしひじょうにへりくだった様であります。これは第六十一章の始めのところ

にそれとなく言っており、そこで主なる神は「今汝らの罪ゆるされたり」と仰せになつています。これにひきつづいて、この祝福の下つたわけが次の通り言っております。

「主なるわれは罪を赦し、且つへりくだれる心を以て罪を告白する者にめぐみ深くあれば……(教義と聖約六十一—〇二)。  
「証拠によつてあかしをする」  
これらの長老たちは、この時の

経験についてあかしをするために河の上を旅して行くことを許されました。また水の上を行く長老たちの中には、不信仰の中に今亡びつつある河の兩岸の住民に教えを説かねばならぬ人々がありました(教義と聖約六十一—〇三—〇四)。

これらの長老たちがあかしをすることのできた経験には何がありましたが。一つのたいせつな事は、破壊者であるサタンが実在しているということでありました。河の上にサタンがおそるべき力をもっていることがこれらの長老たちにわかりました。また長老たちは、主なる神が忠実な者のために全能をもっておいでになることを感謝することができました(教義と聖約六十一—〇五—〇六)。

忠実な者を神がお守りになるいちじるしい例はヒラマンの二千人の息子たちの場合であります(アルマ書五十三—〇十一—〇十二、五十六—〇四—〇五—〇七)。神をまことに信仰するならば、神は一つの人をさえ守りたもうにちがひありません(アルマ書四十四—〇四)。

ニューイングランドとカナダに住んでいる聖徒を集めよという任命をブリガム・ヤング大管長から受けたウィルフォード・ウヰドラ

フ長老は次のように言いました。「私は大管長の命令通り行なつた。聖徒の全員を集めるのに二年かかったが、これを為し終つて私はしんがりとなって出発した。私がこの一隊と共にピッツバーグへ入ってきたときはすでに夕ぐれになつてきたが、今や一隻の汽船が出航の用意をしているのが見えた。私は直接船長のところへ行つて今すぐ船を出すのかときいた。すると船長はその通りとこたえた。「乗客は何名いるか」「二百五十名」「もう百名のせられるか」「できる」。このような問答の後に「では、船にのせてもらいたい」ということばが私の口から出かけたとき、私に聖霊の音が聞えた

「お前も、お前の一隊もこの船にのつてはならぬ」。それで充分であった。私は「みたま」の声を知っていた。それで私は背をむけて船長に言った「私は、今すぐには船に乗らないときめた」。そこでその汽船は出航した。その夜はまっくらであったが、遠くも行かないうちにその船は火を発して全員ごとごとく死んでしまった。もしも私が聖霊の声に従わなかったら、おそらく私たちもまたことごとく船と共に亡びてしまつたにち

がない(デゼルトウィークリイ、第五十三卷二十一号、千八百九十六年十一月七日発行参照)。

「主なる神、論じたもう」

主なる神は、これらの長老に「いしえの人々となしたる如く汝らと共に論らわん」とお言いになりました(教義と聖約六十一〇十三)。「予言者」ヨセフ・スミスにたまわった啓示を見ると、主が主のしもべたちと論じたもうた事の次第が「教義と聖約」第五十章の十節から二十四節までに見えています(扶助協会レックス、第三十五課「千九百六十一年九月参照」)。

主なる神がこの啓示をお下しになったわけは何でありましょうか。それはこれら数人の長老たちにだけ下されたのですか。次の聖句を見れば、河水に関するこの勸告は、末日におけるすべての聖徒に下されたことが明らかであります。

「見よ、主なるわれ、始めには水を祝福したりしが、末の世に於てはわが僕ヨハネの口によりて水をのろいたり。この故に、何人も水の上にて安全ならざる時代來るべし。而して心の義しき者のほか、何人も水の上よりシオンに行くこと能わずと言わるる時代來ら

ん」(教義と聖約六十一〇十四—十六)。

最初に主なる神は、御自分の創造なさった万物を見て「善し」とお言いになりました(創世記一〇十参照)。このとき水は人間が用いるために祝福されました。しかし、最初とちがって末の世には河水の水はのろいを受けます。神の怒りの鉢が傾けられるうちに、第二の天使が鉢を海に傾げると、その中の生きものは皆死んでしまいました。第三の天使がその鉢を川と水の源に傾けるとみな血になりました(黙示録十六〇三・四参照)。末の日に、世界の人々に注がれる神のさばきをこのように見たのは黙示者ヨハネであります。

世界がつくられる前に天で考えられた「計画」の一部として、もしも神の律法が守られないと、さばきもしくはわがわいがこの地球に下るということを、人間は数々の予言者のことばから知るはずであります(アモス書三〇七参照)。

主なる神の目的は人間を救うことであって人間を亡ぼしたりのろつたりすることではありません。「しんげん」の中で言っているように、主の目的は愛であって、愛するためにはこらしめさえお与

えになるのであります(しんげん三〇十一—二参照)。

「河や海の水はろわれる」

予言者「ヨセフ・スミスと共に旅行した長老たちに、ミズーリおよびミシシッピ川で多くの破壊が起ると言われた第六十一章五節のことばに注意して下さい。この啓示が下った時から今まで、以上二つの川とその支流で起った破壊についてはくわしい資料を挙げることは事実上できないことですが、失なわれた生命と損害を受けた財産が莫大であることは人が知っています。予言者「ヨセフ・スミスはその生存中に、生命財産が多く失なわれたことについて言っています(「教義と聖約」の註釈(英文)三六二—三六三頁参照)。

「河や海の上における破壊」

末の日にはミズーリおよびミシッピ川の水がのろわれるばかりでなく、ほかの河や海の水もろわれます(「教義と聖約六十一〇四・五」)。

啓示のことばには、安全の義しい者のほか誰も水の上で安全でない時代がくると言っており、(「教義と聖約六十一〇十五・十六」)。

氷山につき当ったり、船と船とが衝突したり、火災を起こしたり、岩にのりあがりたりして起った平時の海難事件を考えてみさえすれば、水の上で起こる破壊について強い印象を受けずにはおれません。第一次および第二次の大戦のときに起った莫大な生命財産の損失を考えると目がまわるほどであります(「教義と聖約」の註釈(英文)三六五頁参照)。

「一つの対照と神のたしかなことば」

末の世に河や海の水はのろわれます。それにもかかわらず、河や海には交通があるでしょう。第六十一章の啓示がとくに与えられた長老たちは、水によって旅をせよ、しばし旅をしてからは陸路を行けと言われました。しかしほかの兄弟たちはミズーリおよびミシッピ川について警戒せよと言われました。

「さて、われ汝らに一つの誠命を与う。およそ一人に言うことは万人にこれを言うなり。すなわち汝らこれらの水につきあらかじめ兄弟たちを警めよ。これらの水の上を旅せぬようにせよ。これ彼らの信仰を失い、そのわなに陥らざらんがためなり。」

「主われ命じれば「破壊者」水の上に浮かぶ。而してわれこの

命を取り消さず」「教義と聖約」  
六十一〇十八—十九。

しかしながら、主なる神はこころの義しき者たちだけが水をわたってシオンにくる日がくるが、主の聖徒たちは河や海の水で亡びない、というたしかなことばを聖徒たちに下さいました。

「さりながらすべて生くる者はわが手のうちにあるなれば、汝らの中忠信なる者は水のために死ぬることなかるべし」。

「この故に何人も水の上にて安全ならざる時代来るべし、而して心の義しき者のほか、何人も水の上よりシオンに行くこと能わずと言わるる時代来らん」(「教義と聖約」六十一〇六、十五—十六)。

### 「初期の時代におけるシオンへの移住」

シオンへ来るということは、將來最初のヨーロッパ伝道部になるはずであった大英帝国で福音が説かれるとすぐに聖徒たちのもつたねがいであります。アメリカ合衆国西部の選ばれた地方に植民地を築き神殿を建てることを助けるという会員たちの動きは、改宗者たちに移住基金から資金が貸し与えられたので大いにはげまされま

教会の大幹部の指令によってこの移住運動が成功を収めたことは歴史にのってあります。千八百六十九年にユタ州まで鉄道が来て開拓者の時代は終りました。そして、これと時を同じくして、汽船が舟足のおそい帆船にとつてかわ

ったので帆船による移住航海もやめになりました。これらの「郵便船」の一つについて英国の作家チャールズ・ディッケンズが興味のある有名な描写をしております。この有名な作家は、モルモン教徒はいんちきであるという証拠をあげるためにモルモンの移民船へ乗りこんで行きましたが、結局聖徒たちの人格をほめたたえて下船してきたのであります。

次の一文の中で「ミスター、アコンマール」と呼ばれているのはチャールズ・ディッケンズその人であります。  
「六月の日の照りつける朝まだき一隻の移民船へ急ぐ途中のわれを見たまえ……」。

いよいよ、目ざす移民船へ乗りこむ。見たせは、移民の中にかんしゃくを起こしている者、酒に酔っている者、悪たいを ついてい

ている者、めそめそしている者は一人もいない。甲板のいたるところの隅で膝まづいたり、うずくま

でいる者、横になすき間があれば、人々はきずくつきまわる姿勢で手紙を書いている。  
さて私は六月のこの日になるまで何度も移民船に乗りこんだことがある。ところが今日のあたりに見たこの人々は、これまで私の目にふれた、同様の状態に置かれたあらゆるほかの人々とはまるでちがっているので、私はいぶかって「はじめに見る人はこの移民を何だと思うだろう」と言うのである。

すると、日焼けしたアマゾン舟の船長の活気満々たる晴れやかな顔が私の肩のところにあられ、「何と思おうらうって、いかにも！」この人々の大部分はきのこの夕方乗船した。彼らは小部隊をつ

るで軍艦のように秩序整然として静粛になったのだ！ 始めて見る人は誰でもこの人々が何であるか推量するに苦しむだろう。ミスター・アコンマール」と言うのである。  
「まったくそうでしょうな」。

「今まで名前を知らなかったとしても、何だか考えたことがありま

すかい」。  
「どうしてわかりますか。言えというなら、彼らはそれぞれ英国の精華と呼ぶべきでした。

船長いわく「私もその通り」。  
「何人いますか」。  
「約八百人、八百人のモルモン教徒」。

私は、その船長が大西洋へ出航する前に一通の速達を故郷に送って、これらモルモン移民の行儀の正しさと、彼らの社会が秩序礼節整然としていることを激賞した事実を知った。……しかし、この時私は彼ら移民がとういていほめるに足らない連中であると充分信じていたので、ほめるに足るかどうか反対のあかしを得ようとして乗船したのであった。ところが、私のひじょうに驚ろいたことに彼らは反対のあかしをされるどころか、私の生れつきの気性や傾向をおさえ

でも正直に彼らのすぐれていることをあかしせねばならない。私をこれまでのところ、何かいちじるしい感化の力がいちじるしい結果を生じていたことを否定することができないと感じながらアリゾナ号をおりてきた。このいちじるしい結果こそ、人がもっとよく知っている感化力がある（チャールス・ディッケンス「非営利的旅行者」二〇〇—二一頁参照）。私の母かたの祖父母は、ここにチャールス・ディッケンスが述べている、千八百六十三年六月四日に英国ロンドンをたったアマゾン号に乗船していた約八百人以上の移民の中にいました。私の家族の言いつたえによると、この船は難破しそうになったけれども船に乗っていた人たちの祈りによって助かったというのであります。

「われわれは千八百五十年の一月二十六日までにはきわめて快適な航海をしていったが、時におよむべき暴風が起った。その日の午後二時ごろになると波が高まってその力を示し始め、船は右に左に傾いた。船は両舷から水をかぶり、帆も帆げたも波にうばわれ、帆を操縦するための鎖はちぎれてしまった。夜に入つてすべてがひじょうに険悪と思われたとき、われわれの部長は副部長たちをよび集め、全員が共になつて主なる神に對してこの風を止めたまえと祈つた。然るに、兄弟たちが祈り終るか終らないうちに、風がしずまった。このしずまり方があまりに突然であつたために、船長はじめ船員たちはひじょうに、おどろいて、もはやすぎ去つたけれどもこのような危険の最中にあつたように幸福にしていたのはどうしたことだとなつたのであつた。この船員たちは、忠実な聖徒たちがその義務を尽すために努力しているときには主なる神がその心からすべてのおそれをとり除いて下さることがほんとうに理解することができなかつた」（「葡萄牙國における働らき」(信仰のすすめ叢書の第十二卷)七十一—七十三頁参照)。

聖徒たちがシオンに集る時がくると、主の力は聖徒たちのためにあらわれにちがひありません。「祝福された地」

始めに地はのろわれました(創世記三〇七参照)。しかし、末世には聖徒らが利用するために地は祝福されます(「教義と聖約」六一—〇七参照)。この予言の完全な成就は、地が再新されて月の光栄に似た状態となり美しい樂園となる(「福千年」)ときのためにとつておいてあります。

ジョージ・A・スミス長老は主なる神がユタの地を主の聖徒たちのために祝福なさる様について次のような觀察をしておられます。「われわれがこのユタの地へ来たのは、この地があまりに荒涼とした、神に見すられた土地であつて人間は一人もこの地に住もうとしないからである。しかし、カーネル・フレモンの報告によると、八月の始めにペヤ川の川口でカーネルの寒暖計が華氏二十九度、すなわち氷点下三度を示した。これは穀物も野菜もすべてを死滅させてしまふ。われわれの敵は言った。「汝らモルモンはそこへ行つて歓迎されるがよい」、そして彼にとつてわれわれが全滅すると思われれることを考えて互にくすくす笑ひをした。……多くの新聞紙はモルモン教の本當の目的を知つて感ずる喜びと満足とを誌した……しかし、日であり虫害寒さ、収穫を期待することのできない気候などの不利益と困難があつたにもかかわらず、主のみたまがソルトレークの大盆地を覆つていた……そしてその地の気候は温和となつた(「教義と聖約」の註釈「三六九頁参照」)。

「予言のことば」

第六十一章の二十四節から二十九節までの聖句は、シオンへ行く途中に旅をするべき針路について指示をしています。概して、長老たちは陸路をとつて行きミズリおよびミンシッピ川によつて旅をするなど言われました。この長老たちはイスラエルの子らが昔啓示のみたまによつて導かれたように、このときも啓示のみたまに導かれるはずでありました(「教義と聖約」の註釈「三六六頁参照」)。

「第六十一章の結び」

主なる神はそのしもべたちにオハイオ州シンシチナより旅をせよ、そしてシンシチナより始めて熱心にあかしのせよと勧告をなさいました(「教義と聖約」六十一—〇三十

―三十五参照)。主はこの啓示のことばを結ぶに当り、この長老たちに、幼児らよ心安かれわれは汝らと共にありという注意を与えておいてになりました。主なる神は彼らをおしてなされたことはありませんでした(六十一―三六―三十七参照)。最後に、すべての聖徒に与えることばとして次のようないましめがあります。

「汝ら腰に帯し油断なく真面目に人の子の来るを待て。人の子は汝らの思わざる時来ればなり。汝ら誘惑に陥らざるよう、また生くるも死ぬるも人の子の来る日に堪えんことを常に祈るべし。誠に然り、アーメン」(「教義と聖約」六一―三十八―三十九)。

「汝ら腰に帯し」ということばは、末日聖徒の間でよく使われることばであつて「汝らそなえをせよ」という意味であります。何のためにそなえをするのでしうか。それはキリストの再臨のためにそなえをするのであります。では、そのそなえをする一つの方法は何でなくてはなりませんか。それは誰でも誘惑にからぬ力と勇氣とをもつように祈ることです。もしそうするならば、聖徒たちは生きても死んでもキリスト再臨の日

に堪えるにちがいありません。考察のための質問 (一) 河海の水が末の世にのろわれるということに対する聖句はもともとどこにありますが。(二) 末の世に地はどのように祝福されるでしょうか。(三) 「汝ら腰に帯せよ」という聖句はあなたたちにとってどのよう

にするのですか。

「**「仕事会」**」  
千九百六十三年三月第二回の集りで。

考察その六「末日聖徒の家庭は清潔である」(二)  
目的―清潔でよく配慮された家庭はその美しさを高め、また霊を高尚にすることを示す。

今日最良の家庭管理者たちの中には、年に一度または半年に一度行なう大掃除を全然やめて、毎日きまった仕事として掃除をするように家事の時間を組み立てましたので、一度に家中のものをばらばらにして、家族の活動をひどく乱してしまふようなことはもうありませんと言っている方があります。その方たちはバスルームの壁を洗うこと、本だなを整理すること、洋服だんすの整理または木製

品を洗うことのような或る余分の仕事を毎週の予定表の中へくり入れてあります。このようにすれば、家はいつもとどのつた状態にあって、家族のいつもの活動がひどく乱されるようなことはありません。

近代の主婦が、その家と家のなかにあるものを平常きれいにしておくための賜物とも言うべき二つの設備があります。それはほかでもない真空掃除器と電気洗濯機であります。真空掃除器はごみを吸いこみ、はたきかけの同じ仕事をしても、はたきかけのごみを四方にとばさずに家の中か

らとり去ります。電気洗濯機はご存じのようにいろいろな布製品をきれいにする際にたくさんの時間と勢力をはぶきます。あなたがこれらの設備をお買いになるときは、前によってこれらの製品に関する知識を得ておいて、自分の目的に一番適する品を必ず買つてお金だけにして下さい。次に払ったお金だけの仕事を充分にさせたいと思ふなら、使い方の書いてある本をよくよんでその通りにして下さい。真空掃除器や電気洗濯機はあなたのよいしもべでありますから、やさしく愛して使つてやれば何年も

忠実に働らいてくれます。今日は三つの種目について、特に割当てを受けた方から説明をうかがう日であります。これに割当てられた一人一人の方は次に示す資料を使つてもよいし、また自分が本を読んだり経験によつて得たほかの資料をつけ加えてもよろしい。その一つ一つは五分間に制限しなくてはなりません。

**説明番組(その一) 床のふき掃除。**  
あなたの家のほこりの九十三パーセントまでが床の上にたまりま

すから毎日、毎週、毎月規則正しく床の手入れをするのがあなたの家を良い状態に保つために必要であります。

**毎日のふき掃除**―リノリウムの床やタイルの床は注意して掃き、よごれのあるところをふきとりませう。じゅうたんや毛せんには「ローラー」仕掛のほうじんを使い、たくさんの人が通る場所では真空掃除機でほこりをとりませう。よごれのあるところはとくにきれいにします。  
**毎週または必要な度毎に**―軽く泡立てた石けん水または清水をしめしたモップでリノリウムまたはタイルの床をふく。じゅうたん

と毛せんは真空掃除機をかける。

毎月一回またはそれ以上——しめったモップをかけたあとでリノリウムまたはタイルの上にワックスをぬる。これは一度ぬっておく人と人が通る度にひとりずつやが出るものです。

年に一回——じゅううたんの上に、ほこりを吸着する性質のあるじゅうたん清掃用の粉を用いるか、商人を呼んでじゅうたんの掃除をする。

真空掃除機を使うときの助言——

掃除機をゆっくり前の方へ押してやるときは一から六までかぞえるときまた一から六までかぞえます。ほこりを吸わせるときゆっくり時間をかけると機械は一番よく働らぎます。使ったらその度ごとにブラシをきれいにしておいて下さい。

説明番組(その二) 家具(まどかけ、じゅうたん、革ばりの椅子など)をきれいにする方法。

毎日のふき掃除——よごれをとりに去る。砂糖によるよごれは清水でとり去ることができ。油気によるよごれは普通店で売っている洗剤でとることができる(完全によごれをとる前にどこが目立たな

い所)ためしにやってみることに)。よごれたところをきれいにするにはまず外側から中心にむかって仕事をすすめてゆく。

毎週——家具用の先端をつけて、真空掃除機でブラシをかけると同時にほこりを完全にとり去る。もしもクッションがへこんでいるなら、真空掃除機をかけないでやわらかくふくらませ日日光にあてて干します。表裏ともに使えるクッションをひっくり返すこと。

毎年——からぶきをすること。

純白な石けんのフレイクを三分の一カップと、アンモニア水一テールスプーンとを沸騰しているお湯二カップに加えてきます。次に鉢が泡で一ぱいになるまでビーターを使ってはげしくかきまわす。やわらかいブラシの泡を少々つけてハインチ角のせんいをこすりよごれをとる。きれいなぬるま湯につけてから軽くしぼったやわらかい布で石けんのあわをぬぐい

とる。もしもせんににけばがあるなら、けばの方向にしわをのばす。せんの全部がきれいになるまでつつけなさい。せんいが水気を吸いすぎないようにつとめて下さい。二十四時間乾かしてから使

います。自分で洗剤をつくりたくないなら、町でよい品をたくさん売っていますからこれを使って下さい。

説明番組(その三) 金属製品をきれいにする方法。

金属製品は家の中にかがやきと与えるふしぎな要素であります。もしもあなたの家の金属製品がきれいでなくかがやいていないなら、人の目につかないところにおかなくてはなりません。というのは金属製品の状態くらい家政能力を一目でわからせるものはないからであります。

毎日の掃除——石けん水で鍋類を洗い、石けんを含んだスチール

・ウールでアルミニウム製品を磨きかびかかしておきます。酢と塩を入れた湯で銅器を洗いきれいにします(註。洗ったあとでよく水洗乾燥しておかないと青さがつきます)。ガスレンジや冷蔵庫のエナメル部分をふき掃除します。クロムメッキの部分もよくふいてびかかにする。

毎週——銀製のフォークやスプーン先端は、沸騰している湯二カップに、塩二茶さじ、重曹二分の一茶さじを加えた液を古いアルミニウム鍋に入れその中につけ

てくもりをとる。町で売っている銀みがきを使うと時間がかかるが、どんな銀製品でも完全にくもりをとるにはこの方がよろしい。

装飾用銀製品にはとくに処理した銀みがき用の布を使います。真鍮製品は町で売っている真鍮みがきで磨き、乾いてからやわらかい布でこすり鹿皮で仕上げをします。ラック仕上げをした真鍮製品はただほこりをとってときどき洗えばよろしい。あなたの家のガスレンジはのこすところなくすすみまできれいにします。このとき水の中へアンモニア水を少々加えたものを使うと汚れがよくとれます。

掃除を楽にするための方法

(一)からだを最もよく使うことができるように、毎日規則正しく体操をしなさい。体をまげたり、物をもちあげたりしないで足には背中の筋肉を使わらないで足の筋肉を使いなさい。ひざをまげるときは台があつてこれにこしをおろすように想像します。背中をいつもまっすぐにして下さい。(二)家族と一しょにいる時のために自分の勢力を節約して下さい。階段を上るには同じ距離を水平に行くより六倍の勢力が必要で、階段を上り下りするには計

面を立てておき、むやみに上り

下りしないようにします。台所

風呂場、洗面所などにはそれぞれ

洗剤（石けんを含む）を置き

一々とりに行かないようにしま

す。立っているときはこしをか

けているときの三倍の勢力が必

要です。アイロンをかけるには

立ってしないでこしをかけてし

ます。仕事はできるだけ腰をか

けた姿勢で行なうようにしま

す。

(三)ぶき掃除そのほかの仕事をする

には最良の道具と洗剤とを使

います。床や風呂おけを掃除する

仕事をするには長い柄のモップ

やブラシをつかい、洗う仕事に

はスポンジを使います。また道

具や必要な物資を運ぶには車の

ついた台を使います。壁にブラ

シをかけたたり家具や布地のごみ

をとるには真空掃除機を使い、

またいちいち捨てることのでき

るからぶき用の紙、ひとりでに

磨きのかかるワックス、すすぎ

洗いのいらぬ洗剤など町で売

っている品を利用します。

(四)掃除仕事の計画を立て、仕事の

予定をまとめます。働らきすぎ

をしないために一番つらい仕事

は間を置いてやるようにしま

す。

(四)ちりがたまらないようにして下

さい。通路と玄関はいつつぎれ

いにしておきます。長グツやゴ

ムグツなどを置くため出入口

に近いところに貯蔵するための

空間を設けます。使っていない

部屋は戸をしめておきます。

(六)主婦としてのあなたの専門仕事

について毎日何か新しいことを

学んで下さい。そして今より良

いやり方を発見したらこれまで

の方法を進んで変えて下さい。

世界とそこに任んでいる人々に

ついてあなたの理解を向上拡大

する知識や経験を新しく得たと

き、もしもあなたがそれを利用

する方法を知っており、あなた

の家庭生活の中に吸収して充分

意義をもたせるならば、それは

もっと深い意味をもつにちが

ありません。

考察のための質問

(一)窓、かがみ、ガラス皿、脚のあ

る盥などの掃除についていくつ

かの要点を述べよ。

(二)家に伝わる陶器、銀器、服飾品

などに関する歴史的の出来事を

知っていたら述べよ。

## 「社会科学」

(千九百六十三年三月第四回の

集り)

神の律法と教会制度

「教会制度の基礎」

第五課 人類の各種権時代に於け

る神の律法の適用について。

目的「神の律法が太初から行なわ

れて来たことを悟る助けを与え

ること。

「聞け、汝ら諸々の天よ、地よ

耳を傾けよ。喜べ、そこに住む者

たちよ。主は神にして、主の他に

た主なければなり。主の智慧は

偉大にして、その為したもうとこ

ろは驚嘆すべく、その御業の終は

誰も知る者なし。その企図は敗る

ることなく、またその御手を止め

得る者絶えてなし。永遠より永遠

に主は同じにして、その齢は尽く

ることなし。」「教義と聖約」七十

六〇—一四)。

「神の業、計画、目的が破れ、ま

た水泡に帰するは共に有り得べ

からず。」「教義と聖約」三〇—一)。

「神の律法の目的」

「高価なる真珠」の中に(モー

セの書第一章)、モーセが主なる神

に「神よ、しもべを憐れみたま

いてこの世と、この世に住める人々

と、また諸天のことを語りたまえ

……)(モーセの書一〇三十六)

と申したということがのつていま

す。主なる神は多くのことばに答

えて、諸々の天は数多く人にとりて

は数知れず、一つの世界が過ぎゆ

くときは別の生界を生ず、かくし

て神の業にも神の言にも終りな

し、とモーセに仰せになりまし

た。主なる神は、このとき簡単な

ことばを以て、主の創造にはっ

きりした意味と理解とお互えに

なっています。「見よ、これわが

業にしてわが栄光、すなわち人に

不死不滅と永遠の生命とをもた

すなり」と(モーセの書一〇三十

九)。

前のレッスンで論じたことによ

って、私たちは神が神聖な律法に

よって「生命と救いの計画」をお

立てになったことに気がついてい

ます。この計画に従うことによ

って神の目的が達せられるのであり

ます。またこのレッスンの前に華

げた聖句から、私たちは神の智慧

の偉大なこと、神の目的が破れな

いこと、何人も神の御手を止める

ことができなことがわかりま

す。またさらに私たちは、神の永

遠なる御性質と、永遠に終りのな

いことに深い感銘を受けます。以

上のことから、私たちは神の目的

と計画の最も重要な点がアダムから今日に至るまで人類に啓示されていると結論を下すことができません。また、人類の活動の指標となっている神の律法は、歴史の各時代に於いて同じように拘束力をもっていたことが明らかであります。

### 「各神権時代」

この歴史の各時代はしばしば「神権時代」と言われていますが、その意味は、神が人間に出現われになりこの地上に聖い神権者をお立てになって「生命と救いの計画」の重要な部分を啓示し、組織によって神の教会の活動と運営を図りたもう時代ということであります。

オルソン・F・ホイットニー長老は「モルモン福音はあらゆる神権の時代における福音そのものである。その時代が神権の時代と呼ばれているように、最初から神はその時代に人に語りたもうて、天からこれらの救いの原則と権能とを啓示したもうている」と誌しています。

この神権の時代には、各時代における目立った予言者や指導者の名がつけられています。それを一々あげれば「アダムの神権時代」「エ

ノクの神権時代」「ノアの神権時代」「アブラハムの神権時代」「モーセの神権時代」「イエス・キリストの神権時代」「時満ちたる神権時代」となります。この各々の名称よりもっと大切なのは、その各々の神権時代に人類のゆく

さを支配する神の律法が地上にあったということであります。その時代に男の人々が神権をもっていて、人類の教化と福祉のためにイエス・キリストの教会を組織する権能を正しく委任されていたこともまた前と同じように大切であります。

### 「アダムの教えたこと」

「かくの如くして、福音は最初より説き始められて、神の御前より遣わされし聖き天使たちにより、神自らの声により、また聖霊の賜によりて宣べられたり」(モーセの書五〇五十八)。

福音の内容は、神と人間との関係と、個人個人の進歩を支配する法則と、人間同志の関係をはっきり理解することであります。ほかのことばで言えば、福音とは「生命と救いの計画」であります。

アダムはすべてのこれらのことをその子孫に教えました。従っ

て、アダムの子孫はその「昇栄すなわち日の栄の最高に昇ること」に欠くことのできない教えを知らされました。アダムの教えは次のように総括することができます。

(一)永遠の父なる神が生きてまします。アダムは父なる神と共に歩き父なる神と共に語った。神の御名によって行なう権能、すなわち神権がアダムに授けられた。「かくの如くして、一つの聖き儀式によりけりよらずの物すべてアダムに授けられたり」(モーセの書五〇五十九)。

(二)イエス・キリストは神の御子にましますし、その使命は世の人を贖うことである。アダムはいけにえを捧げる律法を授けられた。「このいけにえを捧ぐることは、御父の生みたもうめぐみと真理に満ちるただ独りの御子がいけにえとなりたもうことのみながたなり」(モーセの書五〇七)。

キリストの行ないは「墮落」から人類を贖うに必要なものを満す。「よけて主なる神は、聖霊によりて至る所人を呼びてその悔い改むべきを命じたまえり」(モーセの書五〇四)。

主なる神のことばに聞き従い、真理の道をふみ行なうことのできる者に「永遠の生命」が約束

されている。パプテスマは「日の栄の最高」に至る喜びと、永遠の父なる神のみもとへ至る門である。

(白霊の御方である聖霊は神会に連なる神であつて、人類に父なる神と御子とを特にあかしのなる御方である。聖霊は人類が進歩するたためにたえず光明と真理とを与える源である。

神の啓示は、人類に救いの知識を与えるために神のみこころがたえず知らされることである。

(三)第一の大きな誠命を受け入れることは神を愛することである。第二の誠命はこれと同じように隣人を自分自身と同様に愛することである。「これら二つの誠命にすべての律法と予言者とのがかかっている」。人類に正しい愛の概念を与え、これがいつまでもつづくことを確保するため「日の栄の国における家族生活」という範例がアダムに与えられた。「人がひとりであるのは良くない」(創世記二〇十八)。

隣り人を愛せよという教えの中では隣人一般の福祉が強調され、とくに人間は「弟の守り手」として人間同志助け合う者であることが強調されている。愛を行なうに当って大切なことは欲望を制御

する個人的訓練である。

### 「神の律法とこれに対する人類の反応」

アダムはその子孫に、日の栄の最高に昇るのに欠くことのできない最も必要なことを教えました。これと同時に、アダムの子孫は悪の影響を受ける者となりました。アダムの子孫は判断をする能力をもち、選択の権利を使つて決定をする能力をもつていました。ところがアダムが生きていた時代に最初の背教が起こりました。アダムの子孫がみな光明よりも暗黒を好んだというわけではなくて、アダムの子孫の中にうらやみ、わがまま、むさぼりなどをする者があつたわけです。これらの者はサタンと誓約をして、隣人を支配する権力を得るため、彼らの間で秘密の誓いをしました。これはみなカインの行ないにあらわれていて、これらは神の律法をかえりみない者たちに死と罪と悲惨とをもたらしめました。当時カインに従つた者はたくさんありました。

う使命を信じて、罪をゆるされるためキリストの御名によつてバプテスマを受けることが大切であると強調してあります。民はすべてにサタンのすすめに従つて肉欲を追い悪魔に従う者となつて、いました。これらの状態は肉の弱さと言われていますが、この状態において、人はその欲望に支配されるのであります。世界におけるサタンの影響のふつうのあらわれであり、もともと貪欲と利己主義のために起る戦いは地のいたるところで行なわれました。エノクの切実なねがいとというのは、民の生活を指導する力である神の愛と人間との關係を正しい状態に戻すことでありました。

エノクは「ただ平和と公正と真理のみ」主の御座の在所であることを指摘しました（モーセの書七〇三十一参照）。エノクの民、とくにシオンの市にいたエノクの民はエノクの教えを信じていました。「主、その民をシオンと呼びたまえり。彼ら心を一にし、精神を一にし、義に住みたればなり。されば彼らの中に貪しき者一人もなかりき」（モーセの書七〇十八）。「エノクとそのすべての民は神と共に歩めり。彼はシオンの真中に在りしに、シオン無くなりぬ。神これをとり挙げて、自らのふところに入れたまいしが故なり」（モーセの書七〇六十九）。しかし、その余の人類は悪の状態のままこの世にのこりました。

ノアが指導者となつたとき、人類の靈的狀態とその行為とはすでにひどいように墮落してしまひました。「ノア予言をなし、神に属けることを太初にありたるままに教えたり」（モーセの書八〇十六）。ノアは神権の位に按手聖任され民に悔改めを呼びましたが、彼らは高慢な態度を改めませんでした。まことに民は主の道をまったく捨てましたので「神ノアに宣ひけるは、すべての肉ある者の終末わが前に近づけり。世は暴力に満ちたればなり。見よ、われすべての肉あるものを地よりほろぼし去るべし」と（モーセの書八〇三十）。

ノアは人類に新しい出発を与えらるという独特の地位を得ました。ノアはその息子および家族の者たちと共に、地球上に人類を住ませ、人類のまじわりと進歩を指導する力としてアダムに与えられた根本の教えを確立する責任を与えられました。しかし、ノアの子孫たちはこの世の富を求めるといふ目的の中に自分自身を忘れてしまひました。ノアの子孫たちは町を建て、富を蓄積し、得た物を守るために力を尽しました。そして、ついに彼らはバベルを建てて神をないがしろにしようとしたので、神は彼らを地の面にお散らしてなりました（創世記九、十、十一章参照）。

アブラハムの神権時代は、イスラエル家の勃興の記録にほかなりません。アブラハムは周囲の社会的状態に不満を感じ、これに反抗して立つ別の場所を見つけようと決意をしました。アブラハムは神権と先祖の知識を授けられ、自分の時代の人々に悔改めを呼びかけました。しかし、その時代の人々はエジプトのパロの偶像崇拜に夢中になつていて、アブラハムのことばに耳を傾けようとしませんでした（アブラハムの書一〇五参照）。

アブラハムは天からの靈感に従つて自分の家族をつれ「世の外」（カルデヤの地から外）へ出て約束の地へ参りました。ここでアブラハムは自分の民を確立しましたが（この民はアブラハムの孫であるヤコブからイスラエルと呼ばれることになりました）、この民が

受けついで遺産の中にはアダムから直接に伝わった血統と神権の系統、および愛をもとにした日常生活に神の律法を適用して造りあげた社会的環境がありました。

しかし、きさんのためついにイスラエルの家はエジプトに追いやられました。が、主なる神はそのしもべであるヨセフによってイスラエルの家が保存されるように備えをしておられました。イスラエルはエジプトの地で栄え強い民となりました。しかしヨセフが死ぬと「ヨセフを知らぬ」王がエジプトを支配するようになって、イスラエルの民はエジプト人の奴隷となりました。そして、イスラエルの民は働らきに於いても思想に於いてもエジプトの奴隷になつてしまつたのであります。

「モーセの神権時代」について考へるとき、私たちは当時、神の律法にも従わず神の御名によつて行なう神権も認めない人々が世の中の人の大多数を占めていたことを知つていなくてはなりません。当時イスラエルの家に属する人々は比較的少数でありましたが、この少数ではあるがすぐれた民の中から後に人類の救い主、生ける神の御子が出ておいでになつたので

あります。

### 「モーセと教育の場としての荒野」

神によつて選ばれ、イスラエルの指導者となるため奇蹟的に生き永らえたモーセは、エジプトからつれ出され、イスラエルの民を約束の地へ戻す仕事をするため主の指導のもとに訓練を受けました。モーセはエツロから神権を受け、また神がら親しくとくべつの委任を受けました。そして、イスラエルの民をエジプトから荒野へ導き出し、神の律法のもとに四十年間彼らを訓練いたしました。

イスラエルの子孫に及ぼしたパロの影響はひじよなものでありました。「目には目、歯には歯」というのが彼らの了解した指導の型式であつて、十誡は後になつて日常の生活の中で理解される誠めでありました。

モーセは忍耐と勤勉をもつて教え、彼らが正しい行いの反応を示すように祈りました。ところが、彼らはモーセが神と語をしていた間に偶像である黄金の小牛をつくりました。モーセはイスラエルの子らが偶像をおがんでいるのを見たとき、神の指で書かれた誠命をのせていた石の板はこなごな

にくだされました。イスラエルの子らは新しい誠命を受ける用意ができていませんでした。しかし、モーセはその民のために嘆願してひきつづきあらゆる人間関係に對しては責任を持たねばならぬこと、神権を正しく認識せねばならぬことなどを教えました。イスラエルの民はなかなかこれに對して反応を示しませんでした。そして、ついに神は民の中からモーセもメルケゼデク神権すなわち大神権もとつておしまひになりました。しかしアロン神権は、キリストの降臨なされるまで民を公けに導びくためのこしてお置きになりました。

### 「律法の成就」

「キリストの神権時代」は「時の真中」とも言われています。アダム以来この世にあらわれた予言者はすべて、イエス・キリストの使命を教えて、イエス・キリストこそ世の罪を負うて十字架にかかるお方であると言つています。またイエス・キリストの贖いのぎせいを信する信仰こそ「救いと昇栄」を得る鍵であると指摘してあります。

神の御子、イエスがこの世へ生

れておいでになるというのがあらゆる真の予言者が世の人々に述べたあかしでありました。イエスが死に勝つて復活を確実にすることのできる唯一人の御方でありました。イエスこそ律法を成就したことを証明し、永遠なる父の神が真に生きてましますことをあかしなさつた御方であります。イエスの教えは、アダムに啓示された神の律法をありありとあらわしています。イエスこそ神を愛せよという第一の大きな誠命と、隣り人を愛せよという第二の誠命を完全に身を以つて行なつたお方であります。「日の栄の最高に昇ること、すなわち昇栄」と人間の行ないがどんなに大切な関係にあるかが、山上の垂訓で示された「八福の教え」の中にあられています。人間が完全な行いをするに當つて神の律法がどんなに効果あるかを示す一つの模範であります。

キリストがお生れになつた時、天使がそれを人に告げ知らせ、キリストがバプテスマをお受けになつた時、父なる神が親しくこれこそわが愛子と仰せになり、キリス

トがこの世で導きとめぐみを施したもうた時多くの奇蹟を行ないたまひ、この地上にキリストの教会を組織してこれを働かせたまひ、十字架の上で死んでから復活をなさつたにもかかわらず、神の選民であるイスラエルの民はイエスがキリストであることを信じませんでした。イエスがキリストであることを信ずるには、イエスが神の御子であることをまず信ずる必要があります。ところがイスラエルの民はこれを信ずることができませんでした。その結果、神権とキリストの教会とはこの地上からとり去られてしまいました。

### 「時満ちたる神権時代」

少年予言者ジョセフ・スミスが、父なる神とその御子にまみえた時から「時満ちたる神権時代」が始まりました。神権が授けられ、神の律法と儀式が啓示によって明らかにされたことよって、正しい神の教会の組織が確立しました。古い聖句の真の意味と、アダムが教えた「生命と救いの計画」の真の意味とを確立した近代の啓示は、近代人が進歩発達をするための指導となりました。

今日教会が負っている主な責任はイエス・キリストが此世へおい

でになった使命と、イエス・キリストの十字架と復活の意味とをあらゆる国民、民族、あらゆる國語の民に教えることであります。この神権の時代には、人間が「永遠の生命」を得ることを助けるために、また人類を創造したもうた父なる神の目的が成就される助けとなるために、昔々から神がお授けになったあらゆる鍵と権能とが今回復されて、人間が完成にむかつて努力するときの力となるためにいつでも与えられるのであります。

### 考察のための考え

(一) 神の目的が今日もアダムの時代とかわっていないことを証明するためにどんな証拠を出すことができますか。  
(二) 「その御手(神の御手)を止め得る者絶えてなし」とはどういう意味ですか。  
(三) 「神権時代」とはどういうことですか。

四) 選擧の権利があるということとは、必ず正しい選ぶ方をするということですか。

### 参考

「教義と聖約」第三章、第六章。  
「高価なる真珠」モーセの書、第一、六、七、八章。アブラハ

### ム。の書。

新約聖書「黙示録」第五、六、八章。

旧約聖書「創世記」九〇四十一、

「出エジプト記」。

### 訪問教師のメッセージ

(千九百六十三年三月第一週)

「教義と聖約」にもとづいて実践する真理

### メッセージ四十六

「見よ、およそすでにその罪を悔い改めた者は赦され、主なるわれもはやこれを忘るべし」

「教義と聖約」五十八〇四十二) 目的「悔改めという神聖な原則によって人がいかにめぐまれていくかを示す。

天にまします私たちの父なる神さまが下さる最もめぐみ深い親切な約束の一つは、罪のゆるしと離すことのできない悔い改めという神聖なおめぐみであります。もしも私たちが心からほんとうに私たちのあやまちとまちがいと罪とを悔い改めるなら、これらは偉大な最終の審判者である天にまします私たちの神さまから赦され、そして「雪のように白く」(イザヤ書一〇十八参照) されます。これを心から信ずることは、私たちをお

どろくほどはげましてふり立たせる信念であります。まことにこれこそ神のめぐみによって私たちに与えられるおどろくべき祝福であります。使徒パウロが言ったように「神のめぐみは汝らを悔改めに導びく」(ロマ書二〇四)のであります。もしもこの「めぐみ」がなかったら、私たちはすべては永久に罪の中にどまり、もつと有益な、一定の目的があり、効果のある生活にむかつて進むことができないでしうか。

ほんとうの悔改めの意義は何でしょうか。私たちが進歩をするために、またもつと満足なそして有益な生活をするために悔改めをするなどのような基礎ができますか。これまで、悔改めをするのには四つの過程を経るといわれています。それは罪を認めること、後悔をすること、決心をすること、償いをするこの四つであります。まことに、ほんとうの悔改めの第一段は、私たちのあやまちをしんから認めることであります。私たちが自分のあやまちを認めた後に自然に分かることは、そのあやまちをしたことを悲しみ後悔をすることでありませう。次は、それらのあやまちをわが身から追いはら

いたいと思うねがいと決心であり、最後は充分且つ完全な償いをすることでありませう。ジョセフ・F・スミス大管長はこの考えを次のように美しくあらわしておいでになります。

「まことの悔改めは罪を犯したことを悲しく思い、けんそんなところで後悔をし、神の前に深く罪を悔いることだけではなくて、罪をまったくすてあらゆる悪い行ないをやめ、全く新しい生活に入り、すっかり悪をすてて善に入り、悪徳から善徳へ、暗黒から光明へ入らなくてはならない。またそれだけではなくて、犯したすべての悪に対して償いをし、借りたものを返し、神と人とに権利、すなわち返すべきものを返すこととであつて、これがまことの悔改めであつて、この悔改めというすばらしい行ないを完全に為しとげるには意志と身心の全力をつくすことが必要である。そうすれば神はそれを受け入れたもうにちがいない」

(説教集、第十九卷一九〇頁参照)。

ある昔話によると極東のある國で一人の男が盗みをしているところをつかまりました。そして刑罰の一部として、そのひたいに大き

な「S」という字のやき印をおきました。この男は悔改めという偉大な賜を用いて自分の罪を征服し、自分の住んでいる社会の中で善徳と奉仕の立派な生活を送りました。数年後におかれた「S」という男のひたいにおかれた「S」というやき印の意味をその友人の一人にたずねました。するとその友人は「私もほんとうには知らないが、あの男の生活から判断するとたしかに「聖人—せいじん」のSにちがいない」と言いました。

私たちが生きている毎日には、悔改めをしようとするれば悔改めをする時間が必ずあります。私たち一人一人はみなこの心を清める悔改めという原則によつてたえず清くなる必要があります。「義し清くして善を行ない罪を犯す人世にあることなし」(伝道の書七〇二十)と言つてあるからであります。使徒ヨハネこの真理を再強調して「もし罪なしと言わばこれ自らあざむけるにて真理われらに在るなし」(ヨハネ第一書一〇八)と言いました。

私たちが悔改めをするときに出会う最大の困難の一つは、おそろく、私たちが犯すいわゆる「小さな罪」はかまわないというりくつ

でしょう。私たちの大部分は、大きなあやまちをしたときにはそのあやまちを悔いするという充分するどい良心の持ち主であります。しかしながら、ねたみうらみかげいそのほかこれと同様の弱點といつたような「小さな罪」はりくつをつけたり、かくしたり、忘れてしまひ易いものであります。もしも私たちがほんとうに悔改めようとするなら—汝らすべてのうらみ、すべてのいつわりまた偽善ねたみおよびすべてのそしりをすて「ペテロ前書二〇一」、「慈悲、めぐみ忍耐を着よ。汝ら互いに忍ぶことを為し、もし人に責むべきことあらばこれをゆるせ」(コロサイ書三〇十二—十三)と言つた昔の使徒たちの戒めに従うべきであります。

悔改めには清める力があります。それは悔改めと一しよになつて、またその基礎の一部分としてゆるしというすばらしい原則があるからであります。

主が「教義と聖約」の中で約束しておいでになるように「およそその罪を悔い改めたる者は赦さるべし、主なるわれもはやこれを忘るべし」(「教義と聖約」五十八〇四十二)。詩人ミルトンはかつて罪

のゆるしと悔改めは「永遠の宮殿を開く黄金の鍵である」と言いました。

II. The Story - Ask if there are any questions concerning the story. Then read this week's section aloud and as time permits utilize the story for class participation.

- |                    |                        |
|--------------------|------------------------|
| 1. frontier        | 6. Presidency          |
| 2. attorney        | 7. to emerge (emerged) |
| 3. legislature     | 8. Great Emancipator   |
| 4. Abraham Lincoln | 9. Civil War           |
| 5. polls           | 10. Gettysburg Address |

III. Talk some about George Washington and since his birthday is on February 22, ask the class members to prepare a short paragraph about Washington for the following week using the following words:

1. President
2. general
3. cherry tree
4. 'Father of His Country'
5. faith

### February 28

I. Ask the class for the compositions about George Washington and read as many as possible for the time, correcting the errors and commenting as you feel necessary.

II. THE STORY - Read the last section of the story with emphasis on the study words:

1. scarcely
2. a plot
3. deathbed
4. will
5. mansion
6. esteem

III. Use the remainder of the class time to tie the month together by covering material missed in past weeks, by reviewing the past months lessons, by reviewing and asking questions about the story's words and their meaning and by having the class read and discuss from the story.

- |                         |                  |
|-------------------------|------------------|
| 2. Faith                | 7. burial ground |
| 3. Ann Rutledge         | 8. debts         |
| 4. To ramble (rambling) | 9. bankruptcy    |
| 5. press (was pressed)  | 10. "Honest Abe" |

## February 21

### I. IT and THEY the subject pronouns

A. Examples for study and pronunciation - repeat for the students.

- |  |  |
|--|--|
| 1. What is this?                                     | It's a will.                             |
| 2. What is that?                                     | That's a shirt.                          |
| 3. What are these?                                   | They are wills.                          |
| 4. What are those?                                   | Those are shirts.                        |
| 5. Is <i>this</i> (that) a shirt?                    | (It is.)                                 |
| No, <i>It's not</i> a shirt.                         | What is <i>it</i> ? <i>It's</i> a skirt. |
| 6. Are these (those) wills?                          |  |
| No, <i>they're not</i> wills. what are <i>they</i> ? |  |
| <i>They</i> are books.                               |  |

B. *It* is used as a subject pronoun when referring to *THIS* or *THAT*.

*THEY* is used as a subject pronoun when referring to *THESE* or *THOSE*.

*IT'S* is a contraction of *IT IS*.

*They're* is a contraction of *THEY ARE*.

C. *IT* and *THEY* are also used as subject pronouns to refer to nouns already mentioned.

- |   |                                     |
|---|-------------------------------------|
| 1. Where's <i>the cabin</i> ?                                       | <i>It</i> is in the woods.          |
| 2. Where are <i>the beds</i> ?                                      | <i>They're</i> cleated to the wall. |
| 3. There's a <i>will</i> on the table.                              | Where is <i>it</i> ?                |
| 4. There are several <i>attornies</i> here. Where are <i>they</i> ? |                                     |

D. For practice and class recitation, answer the following questions in the negative and the affirmative, being sure to use *THEY'RE* (*THEY'RE NOT*) and *IT'S* (*IT'S NOT*) in the answer.

Example: Is this a cabin? Yes, it's a cabin.  
 No, it's not a cabin.

Is this a cabin? Yes, it's a cabin.  
 No, it's a house.

- |                               |                      |
|-------------------------------|----------------------|
| 1. Is this the wilderness?    | 5. Are those stores? |
| 2. Is that a will?            | 6. Are those skins?  |
| 3. Is this a shirt?           | 7. Are these debts?  |
| 4. Is that a single room hut? | 8. Are those men?    |

- |                       |                     |
|-----------------------|---------------------|
| 1. cabin              | 6. leg              |
| 2. corner             | 7. roughhewn        |
| 3. to cleat (cleated) | 8. backwoods        |
| 4. skins              | 9. shirt            |
| 5. to crawl (crawled) | 10. single room hut |

{ Request that they review this section, then read and study the second section of the story for next week.

## February 14

### I. *ON and IN the place words (Prepositions)*

A. Use the place word **IN** when something is inside or within certain limits.

Use the place word **ON** when something touches a surface.

**IN**

**ON**

- |                  |                 |
|------------------|-----------------|
| 1. in the corner | 1. on the floor |
| 2. in the box    | 2. on the table |
| 3. in the woods  | 3. on the chair |
| 4. in the book   | 4. on the wall  |
| 5. in the cabin  | 5. on the bed   |

### II. (ES) *Nouns in the Plural*

A. Write on the board and *repeat after the teacher*.

S - SS

ge - ce - se - ve

- |                       |                   |
|-----------------------|-------------------|
| 1. address addresses  | 1. house houses   |
| 2. press presses      | 2. emerge emerges |
| 3. class classes      | 3. arrive arrives |
| 4. exercise exercises | 4. page pages     |

{ B. If a singular noun ends in GE, CE, or SE, the plural is made by adding (s). The (ES) is always pronounced (IZ).

C. Repeat the words after your teacher, changing only the subject and the verb. Make each sentence from the singular to the plural.

Example: The house *is big*. The *houses are big*.

- |  |                              |
|--|------------------------------|
| 1. The page is in the book.            | 6. Where is the lesson?      |
| 2. The pen in on the table             | 7. Where is the class?       |
| 3. The piece of cloth is on the floor. | 8. Where's the orange?       |
| 4. The picture is on the chair.        | 9. Where are the woods?      |
| 5. The store is small.                 | 10. Where is the wilderness? |

III. The Story—Ask if there are any questions concerning the story; then read this week's section aloud. If time permits, have the class read and participate in explaining and pronouncing.

Study Words:

- |             |          |
|-------------|----------|
| 1. Neighbor | 6. woods |
|-------------|----------|

## February 7

### I. (s) Nouns in the Simple Plural

A. Write on the board and *repeat after the teacher*

- |         |     |       |           |     |         |
|---------|-----|-------|-----------|-----|---------|
| 1. will | [s] | wills | 4. rooms  | [z] | rooms   |
| 2. skin |     | skins | 5. pencil |     | pencils |
| 3. hut  |     | huts  | 6. corner |     | corners |

{B. To make the simple plural of a noun, we add the letter (s) to a singular word. This S is sounded (s) after a voiceless sound and (z) when following a voiced sound.

C. Read aloud, write on the board, and form simple sentences from:

- |          |     |        |           |     |        |
|----------|-----|--------|-----------|-----|--------|
| 1. debt  | [s] | debts  | 1. window | [z] | window |
| 2. wall  |     | walls  | 2. leg    |     | legs   |
| 3. store |     | stores | 3. room   |     | rooms  |
| 4. seat  |     | seats  | 4. read   |     | reads  |
| 5. desk  |     | desks  | 5. wood   |     | woods  |
| 6. light |     | lights | 6. way    |     | ways   |

{II. How to make simple negative sentences from simple affirmative sentences.

A. Write on the board and repeat for the class

*AFFIRMATIVE*

*NEGATIVE*

It is s shirt.

It's *not* a shirt.

It's a cabin.

It's *not* a cabin.

That is a bed.

That is *not* a bed.

{B. *Not* is a *negative word*, in simple sentences it always follows the verb IS and makes a sentence negative.

{C. Class participation—read each of the following questions, then make it a negative sentence, and add to it an affirmative sentence. (Have the class ask one another.)

Examples: Is this a cabin? No, it's not a cabin. It's a hut.

- |                         |                          |
|-------------------------|--------------------------|
| 1. Is this your mother? | 6. Is that a chair?      |
| 2. Is this an oak tree? | 7. Is today Wednesday?   |
| 3. Is this a shirt?     | 8. Is that your pen?     |
| 4. Is this a book?      | 9. Is that the floor?    |
| 5. Is this a corner?    | 10. Is that a song book? |

III. The Story - Explain a little about Lincoln to introduce the story and read the whole story through once for the class. Then help them read the first section to be covered this week. Emphasize the following words:

FEBRUARY

"In my Father's house are many mansions: if it were not so, I would have told you." (John 14:2)

So Lincoln stepped from that corner toward a *mansion* and, with the years he *continues to become* taller — taller in the love, *esteem* and gratitude of men and wome everywhere.

The Instructor, February 1959

### For Study From the Story

#### WORDS

1. cabin
2. corner
3. skins
4. legs
5. shirts
6. roughhewn
7. backwoods
8. neighbors
9. faith
10. burial ground
11. bank rupcy
12. debts
13. frontier
14. attorney
15. legislature
16. polls
17. scarcely
18. a plot
19. deathbed
20. will
21. mansion
22. esteem

#### VERBS

1. cleated (to cleat)
2. crawled (to crawl)
3. rambling (to ramble)
4. emerged (to emerge)
5. out grew (to out grow)

#### PHRASES

1. single room hut
2. on how
3. through the woods
4. was pressed into
5. came forth
6. continues to become

#### NAMES AND THINGS

1. Kentucky
2. "Honest Abe"
3. Abraham Lincoln
4. Ann Rutledge
5. Gettysburg Address
6. Great Emancipator
7. Civil War

## BORN IN A CORNER

FEBRUARY 7

Most people know he was born in a log *cabin* in the Kentucky wilderness. Few know he was born in a *corner* of that single *room hut*.

He entered the world on a bed of poles *cleated* to the cabin corner. The poles were spread with corn husks and bear *skins*. But one day, Abraham Lincoln *crawled* out of that corner. His father joked how his *leg* were getting longer and his mother, *on how* he *outgrew* his *shirts*.

But there were other corners ahead for this *roughhewn* one of the *backwoods*. His whole life was to become a series of corners.

FEBRUARY 14

When just a boy of 17, Abe swung an ax hard and deep into wild hickory, walnut, oak and elm. *Neighbors* said his axe could do the work of three men's. Abe came out of that corner remembering his mother's *faith* in God, how she read to him from the Bible by the light from the cabin fire.

Death pushed Abe into a corner when *Ann Rutledge* died. Shortly afterward they found Abe *rambling through the woods*, mumbling to himself. He stumbled to the *burial ground* seven miles away. There he lay with an arm across the grave. He came out of that corner taller, too—in tenderness: and it never left him.

Young Lincoln *was pressed into* yet another corner. He was confronted with the *bankruptcy* of three frontier stores. It took him years to pay off the *debts*. but he emerged being called "*Honest Abe*."

FEBRUARY 21

As a *frontier attorney*, he was mocked as a "Gawky ape." He lost in bids for seats in the Illinois *legislature*, Congress and the United States Senate. From them he *came forth* taller — in wisdom, in the ways of men.

*Abraham Lincoln* achieved his greatest triumph at the *polls* when he was elected to the *Presidency* of the United States. This success also brought his greatest trial. The South left the United States, and he became the central figure in the worst problem to that time. But Lincoln *emerged* as the *Great Emancipator*; and from one of the *Civil War's* bad battles came his immortal *Gettysburg Address*.

28

*Scarcely* had victory arrived that there was a *plot* to put Lincoln in a corner for good. He was shot from behind while at the theater. His tired head slumped. By morning he was dead. But it was not his end. Years before, sitting at the *deathbed* of a woman who had asked him to write her *will* he had repeated from memory:



今月の表紙

主、ニーファイに命じて一隻の船を造らせたもう。  
 ニーファイの兄弟たちこれに反対し言い伏せられる。

参照聖句

ニーファイ第一書 第一章 一節  
 〃 第二章 十六節～十二節  
 〃 第十七章

編集後記

▲欧州のドナウ河を結氷させた。寒波が日本にもやって来て、日本海側に大雪を太平洋側に「ただいま雨量ゼロ」の異変を持たらした。支部のみさまの所はいかがだらるか、雪だより、なんてのんきなことをいつているのは編集室任人だけかも判らない。  
 ▲雪の便りも山の遭難となると暗くて暗くしてしまうが、記事、葉師岳で遭難した愛知大学山岳部員十三人の中に名古屋支部の八橋兄弟がはいっているらしい。彼が無事に帰ることを祈ってやまない。  
 ▲教会の建築計画は、そんな天候の異変とは関係なしにどんどんと進められている。一月六日、東京武蔵野市吉祥寺にある東京西支部の用地で鉄入れ式が挙行された。会員たちの喜ぶはどんなものであつたらうか、そして強い責任感を感じながら式に参加したにちがいない。会員の勤勞奉仕も、伝道部長自ら手本を示されて、ようやく軌道にのり、東京の支部では、「勤勞奉仕ビクニック」などと、休日に会員が建築現場で働く行事が行われている。西支部の鉄入れ式の記事は渡部兄弟にお願ひした。  
 ▲その他「モルモン」の教義が久しぶりに登場、佐藤竜猪兄弟は最近新しい翻訳のお仕事を始められて、忙しい最中。新しい翻訳とは「JESUS THE CHRIST」である。寒さきびしい折、佐藤兄弟の健康を祈ってやまない。  
 ▲この編集後記、意外に多い読者にただただ毎月マズイ文章で申し訳ないと恐縮しています。

原稿募集

●写真原稿 カット  
 写真、風景、動物  
 人物、その他支部  
 の活動の様子、な  
 んでも結構。キャ  
 ボジの場合、キャ  
 ビネか手札  
 ネガの場合、ベタ  
 焼を付けること。  
 ●あて先、港区青山  
 北町六一三四

月刊「聖徒の道」第七巻第二号  
 一九六三年二月一日発行  
 実価 一カ年 九二円 千共  
 半カ年 四五六円 千共  
 一部 七十円

編集兼  
 発行人 ダウエン・N・アンダーセン

発行所 東京都港区麻布広尾町十四  
 末日聖徒イエス・キリスト教会  
 北部極東伝道部

# 支部所在地

## 北海道地方部

旭川

旭川市八条五丁目  
MIA集会场 旭川公会堂

室蘭

電話(二一五五四)  
室蘭市幸町八九

小樽

電話(七〇五四)  
小樽市富岡町一ノ三五

札幌

電話(二一八二二四)  
札幌市北二条西二四丁目

## 東中央地方部

群馬

高崎市並榎町二七五

甲府

甲府市山田町六三

松本

松本市同心町六一二

新潟

新潟市中大畑町五五七 金井方  
電話(二一八六六〇)

仙台

仙台市光禪寺通り二八  
電話(五一〇八九七)

東京中央

東京都渋谷区八幡通一ノ三四  
電話(四〇八一三三〇七)

東京北

東京都豊島区高田本町二ノ一四八七  
集会场 日曜学校 武蔵野ドレメ

東京東支部

MIA 徳川生物研究所  
東京都江戸川区小岩町四一七五〇

東京南

東京都大田区南千束町二四九  
電話(七八二一六一三一)

東京西

東京都港区青山北町六ノ三四  
電話(四〇二一四〇一〇)

山形

山形市八日市八五〇

横浜

横浜市港北区篠原町二九  
電話(四九一八七七二)

## 西中央地方部

阿倍野

大阪市阿倍野区阪南町中一ノ三八

福岡

福岡市東葉院二ノ四〇

広島

広島市古田町古江四〇〇ノ三  
電話(三一六一二五)

金沢

金沢市成瀬町十一ノ四 野田方  
集会场 農業センター

京都

京都市左京区松ヶ崎桜木町一四

名古屋

名古屋市昭和区北山町三ノ四一  
電話(七三一四二一〇)

西宮

兵庫県西ノ宮市仁川町四ノ五四  
電話(五一〇一四一)

岡町

大阪府豊中市岡町北二ノ一八

岡山

岡山市浜字下六ノ坪五五三ノ四

三宮

神戸市灘区篠原本町四ノ三五  
電話(八六一二六〇二)

柳井

山口県柳井市今市三九一

沖繩地方部

沖繩宜野湾村野嵩区三二八

普天間

沖繩那覇市松尾区一三九

那覇

沖繩那覇市松尾区一三九